

第六十五回帝國議會  
衆議院

健康保險法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

健康保險法中改正法律案(政府提出)  
癩兵院法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和九年二月二十日(火曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 守屋 榮夫君

理事岸田 正記君 理事佐保 畢雄君

理事岡田喜久治君

川口 義久君 野方 次郎君

松尾 孝之君 伊坂秀五郎君

世耕 弘一君 山下 谷次君

久山 知之君 清水留三郎君

武知 勇記君 増田 義一君

福田 虎龜君

同月十九日委員川口義久君及伊坂秀五郎君  
辭任ニ付其ノ補闕トシテ磯部尙君及山田佐  
一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

内務政務次官 齋藤 隆夫君

社會局長官 丹羽 七郎君

社會局部長 川西 實三君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

シ

簡易保險局書記官 生田 武夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險法中改正法律案(政府提出)

癩兵院法中改正法律案(政府提出)

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本

委員會ニ附議サレテ居リマス案件ハ、健康

保險法中改正法律案竝ニ癩兵院法中改正法

律案デアリマス、之ニ付テ審議ヲ進メテ行

キタイト考ヘマスガ、此際御諮リ致シタイ

コトガゴザイマス、參考資料ハ政府ノ方カ

ラシテ提出サレテ居ルモノガアルヤウデア

リマスガ、委員ノ方々ノ方ガ更ニ御希望ガ

アリマスレバ、此際御申出ヲ願ッテ置キマ

ス

○清水委員 參考資料トシマシテ五六御願

致シタイト思ヒマス、第一ハ醫師法、齒科

醫師法、藥劑師法、竝ニ其施行令、施行規

則、其他關係書類、ソレカラ遞信省ノ簡易

保險局ニ於ケル健康相談所ノ規定ト竝ニ其

關係書類、更ニ健康保險實施以來今日マデ

ノ醫師會ニ支拂ッタル金額、藥劑師會ニ支拂ッ

タル金額ノ年度割、ソレカラ健康保險ニ於ケ

ル處方箋ヲ發行シマシタル回数竝ニ金額ノ年

度割、ソレカラ日本ニ於ケル健康保險一人

當リノ受療日數、海外ニ於ケル健康保險一

人當リノ受療日數ノ統計、是ハ或ハ配付シ

テアルカモ知レマセヌケレドモ、若シ配付

シテナカッタ御願シタイ

○武知委員 今清水君カラ御要求ニナリマ

シタ參考資料ノ中デ、醫師會ニ支拂ヒタル

金額ト云フノガアリマシタ、其金額ヲ診療

費ト藥價トニ區分シテ出シテ載キタイト思

ヒマス

○清水委員 更ニ簡易保險ノ健康相談所ニ

於ケル處方箋發行ノ年度割回数、是モ御願

致シマス

○守屋委員長 ソレデハ此際政府ノ方デ、

提案ノ趣旨ニ付テ更ニ説明ヲサレル御希望

ガゴザイマスルカラ、此際御願致シマス

○齋藤政府委員 本案提出ノ理由竝ニ本案

概要ニ付キシマテ、簡單ニ説明致シタイト

思ヒマス、御承知ノ如ク現行ノ健康保險ノ

被保險者中ニハ、強制的ニ被保險者トナル

者ト任意ニ包括シテ被保險者トナリ得ル者

トノ二種ガアルノデアリマス、即チ工場法又

ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケマスル工場、又ハ事

業場ニ使用セラレマスル者ハ、總テ健康保

險ノ強制被保險者トナッテ居ルノデアリマ

ス、又ソレ以外ノ種々ノ工業の事業ニ使用

セラレマス者ハ、任意ニ包括シテ被保險者

トナリ得ルノデアリマスルガ、今回改正ノ

要點ハ、現在任意加入トナッテ居リマスル者

ノ中ノ或ル者ヲ、強制保險ニ入レヨウトス

ルノデアリマス、健康保險ガ實施セラレマ

シテカラ既ニ七年ノ歲月ヲ經タノデアリマ

スルガ、其實施當初ニ於キマシテハ、斯ル

制度ハ我國ニ於キマシテハ、全ク未經験ノ

モノデアリマシタガ爲ニ、各當事者ノ間ニ

種々ノ不安モアリマスルシ、實施上困難ナ

點モアッタノデアリマスルガ、其後次第ニ法

ノ本旨ガ諒解セラル、ニ至ルト共ニ、事務

上ニモ改善ヲ加ヘテ參リマシタガ爲ニ、事

業ノ基礎モ漸ク定マリマシテ、今日ニ於キ

マシテハ、其圓滑ナル施行ヲ見マシテ、所

期ノ效果ヲ舉ゲツ、アル次第デアアルノデア

リマス、然ルニ現行健康保險法ノ適用範圍

ハ、工場、鑛山ノ從業者約二百萬人ニ限局

セラレテ居リマシテ、其保護ヲ受ケテ居リ

マスル者ハ、本邦勞働者ノ一部分ニ止ッテ

居ルノデアリマス、理想ト致シマシテハ、

工場、鑛山労働者ノミナラズ、種々ノ事業

ニ使用セラル、所ノ労働者、其外少額ノ所

得者ニモ健康保險ヲ擴張適用スルノガ宜イ

ト考ヘマスルガ、我國ノ産業並ニ國家財政

ノ現状ヲ顧ミマスルト云フト、漸進的ニ保

護ノ範圍ヲ擴張スルコトガ、最モ策ノ得タ

ルモノト考ヘラレマスルノデ、今回ハ最モ

擴張ヲ必要トシ、且ツ適當ト認メタル部

分、即チ現在任意加入トナッテ居リマスル

種々ノ事業ノ中ノ、或モノニ従事スル者ヲ

強制加入ニシヨウトスル次第デアアルノデア

リマス、以上ノ趣旨ニ隨ヒマシテ、現行法

ニ於キマシテ、健康保險ニ任意加入シ得ル事

業ノ中デ、第一ニハ鑛物ノ採掘又ハ採取ノ

事業、第二ニハ物ノ製造、加工、選別、包

装、修理又ハ解體ノ事業、第三ニハ電氣ノ傳

導又ハ動力ノ發生、若ハ傳導ノ事業、第四ニ

ハ地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事

業、第五ニハ其他陸上ニ於テ爲ス貨物、又ハ

旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定ス

ルモノ、以上五ツノ種類ノ事業ニシテ、當時

五人以上ノ労働者ヲ使用スル場合ニ限りマ

シテ、之ニ使用セラル、者ハ、強制保險ノ

適用ヲ受クルコト、致シタノデアリマス、

斯様ニシテ改正案ニ依ッテ新ニ強制被保險

者トナルベキ者ノ數ハ、約二十九萬人ト相

成ルノデアリマス

右ノ改正ノ結果、第一ニ土木工事、又ハ

工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ノ工事

ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ、第二ニハ

貨物積卸ノ事業、第三ニハ其他勅令ヲ以テ

指定スル事業及ビ今回強制保險ノ方ニ入レ

ラル、ニ至リマシタ五ツノ種類ノ事業デア

リマシテ、當時五人未満ノ労働者ヲ使用ス

ルモノニ使用セラル、者ヲ任意ニ包括シテ

保險ニ加入スルコトヲ得ルモノトシテ、規

定ヲ致シタノデアリマス、以上ガ今回ノ改

正ノ要領デゴザイマスルガ、此改正法律案

ハ、昭和十年四月一日カラ之ヲ實施スル豫

定デアアルノデゴザイマスガ、之ヲ實施スル

爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シマシテハ、昭

和十年一月一日カラ之ヲ施行スル必要ガゴ

ザイマスノデ、此主旨ノ附則ヲ設ケタ次第

デアアルノデアリマス、他ノ點ニ付キマシテ

ハ、御質問ニ應ジテ御答ヲ申上ゲタイト存

ジマス

次ニ癡兵院法中改正法律案ノ提案理由ニ

付キマシテ、大要説明致シタイト思ヒマ

ス

君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲマシタ傷痍軍人ニ

對シ、優遇ノ途ヲ講ズルト共ニ、軍人及傷

痍軍人ノ遺家族ノ保護ヲ厚クスルコトハ、

國家國民トシテ重要ナル責務デアルト申サ

ネバナリマセヌ、此方面ニ於ケル制度ト致

シマシテハ、御承知ノ如ク明治三十九年ノ

制定ニ係ル癡兵院法並ニ大正六年ノ制定ニ

係ル軍事救護法ガアルノデアリマス、右ノ

中癡兵院法ハ實施以來既ニ二十八年ヲ經過

シ、其間戰鬪又ハ公務ノ爲ニ傷痍ヲ受ケ、

又ハ疾病ニ罹リ不具癡疾トナリマシタ軍人

ヲ癡兵院ニ收容シタノデゴザイマスルガ、

大正七年以來軍事救護法ノ施行ニ依リマシ

テ軍人ノ遺家族、傷痍軍人並ニ其遺家族中

生活困難ナル者ニ對スル一般の救護制度モ

備ハリマシテ、殊ニ去ル昭和七年ノ同法改

正ニ依ッテ其内容モ著シク改善セラレタノ

デ、今日トシテハ傷痍軍人ニ對スル從來ノ

癡兵院制度ニ付テ、相當改正ヲ加フルコト

ガ急務デアルト考ヘルノデアリマス、是ニ

於テ政府ハ先ヅ癡兵院ナル名稱ガ傷痍軍人

ノ名譽ヲ表徴スルニ適セザルノ憾ガアリマ

スルシ、從來其改稱ノ必要ガ感ゼラレテ居

リマシタコトニ鑑ミマシテ、之ヲ傷兵院ト

改稱スルコト、シ、又現在ノ制度ハ主トシ

テ貧困救濟ヲ其建前ト致シテ居リマスル

ガ、之ヲ改メテ癡兵院ハ戰鬪又ハ公務ニ因

リ傷痍ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リマシタ者

ノ中其精神又ハ身體ニ著シキ障礙ガアリ、

特ニ收容シテ保護ヲ爲スノ必要アル者ヲ入

院セシムルコト、ナシ、以テ癡兵院ヲシテ

國家ノ爲ニ一身ヲ捧ゲ、其結果洵ニ不自由

ナル境遇ニアル傷痍軍人ニ對スル特別ノ施

設タラシムルコト、シ、一方ニ於キマシテ

軍事救護法、其他ノ公私ノ保護救濟ニ付キ

マシテハ、益ニ是ガ普及徹底ヲ圖ルト共ニ、

傷痍軍人ニ對シテハ特ニ之ヲ優遇スルノ趣

旨ヲ明ニシテ、此制度ノ機能ヲ一層有效ニ

發揮セシメ、時運ノ進展ニ對處スルノ一助

タラシメントスルモノデアリマス、尙ホ現

在ノ癡兵院ハ移轉改築ヲ必要ト致シマス

ノデ、是ガ新營ニ要スル經費ニ充ツルガ

爲ニ、癡兵基金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入

レテ使用シ得ルコト、致シタノデアリマ

ス、尙又現行法ニ於キマシテハ、施行ノ

實績ニ徴シ改正ヲ要スルモノガアリ、字句

等ニ付キマシテモ若干改正ヲ要スル部分ガ

アリマスノデ、是等ニ關シテモ此機會ニ於

テ併セテ改正スルコト、致シタノデアリマ

ス

今其改正ノ要旨ヲ申述べマスレバ、第一

ハ癡兵院ト云フ稱呼デアリマス、現行法デ

ハ「癡兵院法」「癡兵院」トアリマスガ、是

ハ名譽アル傷痍軍人ヲ表徴スルニ適當シナ

イ憾ガアリ、曩ニ兵役義務者及癡兵待遇審

議會ニ於キマシテモ、「癡兵」ナル稱呼ヲ「傷癡軍人」ト改ムルコトニ答申ガアリマシタノデ、是等ヲ斟酌致シマシテ、法律ノ題名ヲ「傷兵院法」ト改メ「癡兵院」ヲ「傷兵院」ト改ムルコトニ致シタノデアリマス

第二ハ傷兵院入院資格ニ關スル事項デアリマシテ、現行法第一條ニ於キマシテハ、「戰闘ノ爲傷癡ヲ受ケ、軍人恩給法ニ依リ增加恩給ヲ受クルモノニシテ、救護ヲ要スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ癡兵院ニ收容ス」ト規定シ、同法施行規則ニハ省令デゴザイマスルガ、此施行規則ニ於キマシテハ、原則トシテ自己ノ資産又ハ勞役ニ依リ自活スルコト能ハザル者ニ限り收容スルト云フ、救貧制度ノ建前ニナッテ居リマシタガ、今回ハ特ニ重キ程度ノ不具癡疾者ヲ收容致シマシテ、適切ナル保護ヲ加ヘルコト、ナシ、其程度ハ之ヲ同法施行規則ニ於テ明ニスルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ現行法ニ於キマシテハ、戰闘ニ準ズベキ公務ニ因リ傷癡ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リタル者ハ單ニ公務ニ因ルモノトシテ第二條ニ規定シ、入院ニ關シマシテハ、戰闘ニ依リ傷癡ヲ受ケタル者ノ方ヲ優先的ニ取扱フコト、ナッテ居リマスルガ、是等ノ者ハ

戰闘ニ因ル者ト同様ニ取扱フコトヲ適當ト認メマシテ、之ヲ第一條中ニ含メタノデアリマス、第二條ハ普通公務ニ因ル者ノミトシ、其收容スルコトヲ得ル場合モ第一條ト同様ニ改正ヲ加ヘタノデアリマス、以上

ノ二點ガ今回改正ノ主要ナルモノデゴザイマスルガ、本法ノ改正竝ニ從來ノ實績ニ徴シ、退院命令ヲ發スル場合ノ規定ニ若干ノ改正ヲ加ヘルノ必要ガアリ、又現行法ニ於キマシテハ、「癡兵院ニ收容」ト云フ字句ヲ用ヒテ居リマスルガ、「收容」ト云フ字句ハ、其響キガ如何ニモ本制度ヲ設ケマシタ趣旨ニ適ハナイヤウニ感ゼラレマスルカラ、之ヲ「入院」ト改メ、又大正十二年恩給法ノ制定ニ伴ヒマシテ、現行法ノ條文中ソレゾレ字句其他ニ付テ改正ヲ要スルモノガアリマスルノデ、關係法條ニソレノ是ガ改正ヲ加ヘタノデアリマス、尙ホ今回ノ收容資格ノ改正ニ依リマシテ、現ニ癡兵院ニ收容中ノ者デ改正法ノ資格ヲ具備セザル者モ相當アリマスルガ、是等ノ者ハ本法ノ改正ニ拘ラズ、其儘引續キ在院セシメ得ルコトニ規定致シタノデアリマス

最後ニ癡兵院基金ノ一般會計繰入使用ニ關スル事項デゴザイマスルガ、現行癡兵院ノ位置ハ、是ガ設置當時ニ較ベマスト著シク四圍ノ事情ニ變化ヲ來シマシテ、傷癡軍人ノ收容施設トシテハ適當ナラザルニ至リ、且又寮舎ハ約二十六年前ノ建築ニ係ル木造ノ建物デゴザイマシテ、既ニ改築ヲ要スル時期ニ達シテ居リマスルノミナラズ、其設備内容ニ於キマシテモ、時勢ノ進運ニ伴ハザルモノガ少クナイノデアリマス、傷癡軍人ノ處遇上遺憾ナル狀態ニアリマスルカラ、政府ニ於キマシテハ昭和九年度ニ於キマシテ移轉改築ヲ爲ス計畫ヲ立テ、是ガ新營ニ要スル經費ヲ豫算ニ計上致シタ次第デアリマスルガ、其財源ニ付キマシテハ、之ヲ癡兵院基金ニ求ムルヲ適當ト認メマシテ、之ニ據ラントスルノデアリマス、蓋シ癡兵院基金ハ、癡兵院ニ寄附セラレマシタ不動産、金錢、有價證券ヨリ成リ、現癡兵院ノ敷地、事務所等ハ癡兵院基金ニ屬シテ居ルノデゴザイマスガ、癡兵院ヲ移轉致シマスルト、現在ノ場所ニ於キマシテ之ヲ保有スル必要ガナクナルノデアリマス、隨テ之ヲ賣却致シマシテ、此賣却代金ノ一部ヲ傷兵院新營ニ必要ナル經費財源ニ充當スルコト、致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ傷兵院法第七條ニ於キマシテハ、基金ハ之ヲ蓄積スルコトニ相成ッテ居リマスルカラ、此規定ニ特例ヲ設ケマシ

テ、特ニ基金ヲ使用シ得ル途ヲ拓カネバナラヌノデアリマス、仍テ傷兵院新營ノ經費ニ充當スル爲ニ、基金ノ中デ五十萬圓ヲ限ッテ、一般會計ニ繰入レルコト、ナシ、本改正法律ノ附則ニ於テ是ガ規定ヲ設ケタノデアリマス、之ニ關聯致シマシテ、附則第三項ニ於キマシテ基金ヲ一般會計ニ繰入レ使用シ、之ニ依リテ出來マシタ所ノ土地、建物其他ノ工作物ハ、之ヲ基金トナスコト、致シタノデゴザイマスガ、是ハ成ベク基金ノ減耗ヲ避ケルト云フ趣旨ニ出デタルモノデアリマス

改正法律案提出ノ趣旨ハ概略以上申上ゲマシタ通りデゴザイマスカラ、何卒御審議ノ上速ニ御決議アラシコトヲバ望ミマス御質問ニ對シマシテハ社會局長官、其他ノ政府委員カラ御答ヲスル積リデアリマス

○守屋委員長 是ヨリ質疑ニ入りマス、通告順ニ依リマシテ御發言ヲ願ヒマス——清水 二郎君

○清水委員 私ハ健康保險法ニ付キマシテ數點御同致シタイトデアリマス、健康保險法ハ大正十五年ノ七月初メテ施行セラレマシタ重要ナル社會保險ノ制度デアリマシテ、其規模ノ擴大、強化ヲ期スルコトニ付

テハ、固ヨリ異論ナイノデアリマス、併シ健康保險法實施以來今日迄ノ成績ニ徴シマスルト、其運用上不利不便、不合理ノ點ガ少カラズアルノデアリマス、殊ニ其根幹ヲナシマス醫藥給付ノ制度ニ於テ特ニ其甚シキヲ感ズルノデアリマシテ、今日政府ガ改正案ヲ提出致シマシタ以上ハ、是等ノ點ニ注意致シマシテ、健康保險法ハ適法公正ノモノナラシメナケレバナラヌノデアリマス、私ハ茲ニ勞働能力増進ノ上ヨリ、保險經濟ノ立場ヨリ、更ニ保健衛生ノ點ヨリ御同致シタイノデアリマス

第一ニ御同致シタイノハ、健康保險ニ於ケル醫藥分業ハ、一般ノ醫藥分業ニ先ンジテ行フベキモノト私ハ思ウテ居リマスガ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレマスカ、私ハ茲ニ醫藥分業ノ是非ヲ論ズルノデアリマセヌ、日本ニ於テモ歐米ニ於ケルト同様ニ、醫藥分業ハ法律ノ原則デアリマシテ、今日デハ唯經過の例外法トシテ、醫師ノ兼業ヲ許シテ居ルニ過ギナイノデアリマス、ソレハ第五十回帝國議會ノ當時、大正十四年三月十八日ノ衆議院本會議ニ於キマシテ、大口喜六君ノ質問ニ對シ、時ノ内務大臣若槻禮次郎君ハ次ノ如ク答辯サレテ居ルノデアリマス、只今大口君カラ

二箇條ノ質問ガアリマシタ、其第一箇條ハ今回提出シタル藥劑師法ノ本文ニ於テハ、調劑ナルモノハ藥劑師ノ爲スベキコトデアッテ、其他ノ者ハ出來ヌコトニナッテ居ル、附則ニ於テ醫師ナリ、齒科醫師ナリ、獸醫ナリガ調劑ヲスルコトガ出來ルコトニナッテ居ルガ、此規定ハ何時マデモ此通りデアアルマイト思フガ、何時カ之ヲ改メテ本文通りニ致スヤ否ヤト云フノガ、第一問デアリマス、法律ノ規定デ原則ヲ設ケラレテ居リマシテ、附則ニ於テ經過法トシテ斯ウシテモ宜イト云フ規定ノアルコトハ、何時モソレハ例外法デアリマス、例外法ハ何時カハ原則ニ戻ルノガ當然デアリマスカラ、早晚何時ノトキニカ本則ノ通りニセナケレバナラスト思ヒマス、併シ其時ガ何時來ルカト云フコトハ、只今大口君ノ述べラレタ通り、社會ノ現象ガ變ッテ來マセヌケレバ、容易ニ實行ガ出來マセヌカラ、私ハ之ガ近イ間ニ來ルトハ思ヒマセヌケレドモ、早晚何時カハ本則ニ戻ラナケレバナラスト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ政府トシテノ答辯デアリマス、今日分業ニ對シマシテハ御承知ノ如ク二種類アリマス、一ハ獨逸ヤ、佛蘭西ヤ、伊太利ヤ、歐羅巴ノ大陸方面ニ於テ主トシテ行ハレテ居リマス強制分

業デアリマス、一ハ英吉利其他ニ於テ行ハレテ居ル自由分業デアリマス、併シ私ハ強制分業ガ宜イカ、自由分業ガ宜イカ、ソレヲ論ズルノデアアリマセヌガ、其自由分業ノ國デアリマス英吉利デモ健康保險ダケハ強制分業ガ行ハレテ居リマス、世界ニ於テ殆ド大部分、強制分業ガ行ハレテ居リマス、健康保險ノ第一義ハ勞働力ノ保全デアリマス、保全ノ目的ヲ達スルニハ、被保險者ノ疾病ニ對シテ完全ナル醫藥給付ノ途ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマス、完全ナル醫藥給付ノ途ヲ講ズルニハ、醫師、藥劑師ノ責任ヲ明ニスルコトガ必要デアリマス、即チ診察ハ醫師ニ、調劑ハ藥劑師ニ一任シテ、各専門的技術ノ誠意ヲ發揮セシムルコトガ必要ナノデアリマス、今日學校ニ於キマシテ醫學校ト藥學校ノ區別ガアリ、各其専門的ニ研究ヲシテ居ルコトハ明カデアリマス、健康保險制度ハ、保險者モ、被保險者モ對等ノ地位ニ於テ制定セラレタモノデアリマシテ、被保險者ハ保險者ヨリ恩惠の救助ヲ受ケルモノデアリマセヌ、即チ被保險者ハ保險者ニ對シテ完全ナル醫藥ノ給付ヲ要求スル權利ガアリマス、保險者ハ之ニ應ズル義務ガアリマス、然ルニ現行制度ニ於ケル醫師ノ兼業ハ、被保險者ヲ

シテ醫師カラ受クル藥ハ、粗惡ナル安價藥品ノミデアアルカノ如キ不安ヲ抱カシムルノデアリマス、尤モ保印藥品ト稱シマシテ、健康保險ノ患者ニ對シテハ、他ノ患者ニ對シテ使用スル藥ト違ッタ粗惡ナル藥ヲ使用シテ居ル患者モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、果シテソレガ事實デアリヤ否ヤ知リマセヌガ、サウ云フ噂ヲ聞イテ居リマシテ、被保險者ノ一部分デ粗惡ナル藥ヲ恐レテ居ルノモ無理カラスト思ヒマス、是デハ健康保險ノ目的ハ達セラレヌノデアリマス、東京商工會議所カラ政府ニ答申シタモノ、中ニ、醫藥分業制度ヲ採ルコト、其理由ト致シマシテ、健康保險醫ハ報酬薄キヲ理由トシテ醫藥材料粗惡ナル傾向アリ、醫藥分業ノ制度ニ依リ藥劑師ヲシテ投藥ヲ分擔セシムルコトハ、此弊ヲ緩和セシムルコトヲ得ベキニ依リ、適當ノ時期ニ於テ該制度ノ實行ヲ考慮セラレンコトヲ望ムト云フ答申ガアッタト記憶シテ居リマス、又諮問團體デアリマス東京商工會議所、實業聯合會、工業團體デアアル工場懇話會、其他勞働團體デアリマス各勞働黨、其他勞働組合等、健康保險ニ關係深イ方面ハ大部分醫藥分業ニ賛成シテ居ルノデアリマス、政府ハ何故之ヲ實行シナイノデアリマスカ、一般分業ガ

行ハレナイ以上ハ、健康保險ニ於ケル分業ヲスルノハ早イト云フノデアリマス、

又一般分業ニ先ンジテ行ク考デアリマスカ、同時ニ行フ積リデアリマスカ、詰リ一般分業ノ問題ガ解決シナイ以上ハ、健康保險ニ於ケル醫藥分業ハヤラヌノカ、此點ニ付テ先ヅ第一ニ御同致シタイノデアリマス

○丹羽政府委員 只今清水君ヨリ健康保險

ニ於ケル醫藥ノ問題、殊ニ醫藥分業ノ問題ニ付テ御尋ガアリマシタ、健康保險ヲ施行致シマシテ以來、色々ノ批評ハアルノデアリマスガ、非常ニ被保險者ニ取ッテ效果ヲ擧ゲツ、アルコトモ御認メヲ願ヒタイト思ヒマス、被保險者ノ死亡率ハ年々非常ニ減少シテ居リマス、或ハ疾病ノ率、例ヘバ女工ノ産褥熱ノ率モ非常ニ減ッテ居リマス、健康保險制度ガ被保險者、即チ勞働者ノ健康保持上、勞働力ノ保持上效果ヲ擧ゲテ居ルト云フ點モ十分御認メヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、此健康保險ノ建前カラ申シマスレバ、醫藥、醫藥ノ事柄ハ、御話ノ通り根本ノ問題デアリマシテ、非常ニ吾々モ之ヲ重要視致シテ居ルノデアリマス、ソコデ此問題ニ付テ、從來屢、醫藥分業ニ致シテハドウカト云フ要求モアリ、又其說モアルノデアリマス、其中醫藥分業論ナルモノハ、一般醫

業、藥業ニ付テ既ニ既ニ論議サレ、又法制上

原則的ニ之ヲ認メラレテ居リナガラ、現在經過的ニ其分業ガ實際行ハレテ居ナイト云フコトハ、御述べノ通りデアリマスルガ、ソレハドウ云フコトデサウ云フ風ニナッテ居ルカト云フト、固ヨリ我國ニハ醫藥制度、開業醫制度ト云フモノガアッテ、實際ニ患者ガ此開業醫ノ制度ニ依ッテ醫藥ヲ受ケテ居ル、開業醫ハ藥ガ高イトカ、或ハ不親切ダトカ、色々言ヒマスガ、併ナガラ、私ハサウ云フ惡イ點モ中ニハアルコト、思ヒマスガ、兎ニ角一般民衆ハ今日ノ醫者ノ制度ヲ認メテ、是ガ行ハレテ居ル譯デアリマス、ソコデ健康保險被保險者トシテモ、亦此一般ノ慣習、世間ノ一般ノ慣習ニ據ッテ之ヲ便宜ト致シテ居ル次第デアリマス、隨テ一般ノ醫藥分業ト云フコト、離レテ、健康保險ダケガ醫藥分業ヲ致スト云フコトハ、中々ムツカシイコトデアルト思ヒマス、私ハ今一般醫藥分業ヨリ先ンジテ健康保險ニ於テ、醫藥分業ガ出來ルトカ出來ナイトカ申スノデハアリマセヌケレドモ、左様ナ狀態デアリマスカラ、是ハ十分研究シタ上デナケレバ、又一般民衆ガソレヲ十分納得シテ行ハレルヤウニナラナケレバ、實行ハムツカシイト思ヒマス、又現在ノ健康保險醫ハ數ガ

澤山アリマス、醫者ノ數ハ非常ニ多イノデ

アリマシテ、其極ク一部分ガ健康保險醫トナッテ居ルノデアリマスガ、其數ガ又相當ニ多イノデアリマス、併シ藥劑師ノ數ハ極メテ少數デアリマシテ、醫藥分業ト云フコトヲ健康保險被保險者ノ爲ニ行フト云フコトモ、今直チニ行フト云フコトハ非常ニ實質上困難デアラウト思ヒマス、又一般ノ被保險者ガ醫者ノ所ニ行キマス、差別的ニ特ニ惡イ安イ、若クハ效ガナイ藥ヲ呉レルト云フヤウナ不信用ガアルト云フ點ヲ御指摘デアリマシタガ、健康保險制度開始ノ當時ニ在リマシテハ、色々本法ノ趣旨ガ十分徹底セザリシガ爲ニ、醫師ノ取扱モ十分デナク、爲ニ被保險者ニ不快ノ念ヲ與ヘタコトモアツタカト思ヒマスルガ、今日デハ其點ハ非常ニ改善サレテ居ルト思ヒマス、併シ多數ノ醫師ノ中ニ、若シ不正ノ者ガアルヤウデハ甚ダイカヌト云フノデ、其點ハ十分ノ監督ヲシテ、不正ノ者ガアレバ、保險醫ノ資格ヲ取消スト云フヤウニ致シテ居ッテ、其點ハ十分努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、只今ノ御尋ニ對シマシテハ、今遽カニ醫藥分業ガ出來ルマデ之ヲシナケレバナラヌト云フ程度ニハ至ッテ居ラスト思フノデアリマス

○武知委員 一寸關聯シマシテ——清水君

ノ御質問ヲ進メテ行カル、上ニ於テ、先ヅ政府ノ信念ヲ確カメテ掛ラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ本會議ノ質疑應答ニ現ハレマシタ此醫藥給付ノ問題、是ガドウモ私ハ政府委員ニハ大變ナ錯覺ガアルノヂヤナイカ知ラス、ソレヲ確カメテ置クコトガ此審議上、質問ヲ進メテ行ク上ニ於テモ確ニ必要ナコトダト思フノデアリマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、本會議デ斯様ナ質問ガアリマス、本法ニ調劑報酬計算法ト云フモノガアルノデアル、一々各藥品ノ原價ニ調劑手数料ト云フモノヲ加算シテ、最モ合理的ナル計算ノ方法ヲ以テ、藥劑師ニ對シ藥價報酬ヲ支拂ハレテ居ル、然ルニ醫師ニ對シテハ漫然一劑一點二十錢ト云フコトニナッテ居リ、同一ノ法令ノ支配下ニ於テ、斯ノ如キ差別的待遇ト云フモノヲ何故ナサレテ居ルカ、甚ダ其間不公平ノ嫌ナキヤ、斯ウ云フ質問ガアリマス、之ニ對シテ政府委員ハ斯ウ云フヤウニ答ヘテ居リマス、醫師ノ報酬ノコトニ付テノ御尋モアリマシタガ、醫師ト藥劑師トハ、自ラ其業務ノ方法等モ異ッテ居リマス、醫師ハ單ニ藥劑ヲ調製スルノミデナク、診察、診斷等モ併セテ致スノデアリマスカラ、兩者ノ取

扱ハ全然同一ニナルト云フコトハ不可能デアルト考ヘテ、今日ノ制度ガ出來テ居ル次第デアリマス。斯様ニ答ヘテ居ル、此答ニ依リマスルト、醫師ノ此一劑一點、藥一日分二十錢ノ中ニハ診察料ヲ含シテ居ルト云フ御考ノ下ニ斯様ナ答辯ガアルノデアリマスガ、焉ゾ知ラン、診察料ハ此二點ノ報酬ヲ取ツテ居リマス、サウスルト云フト、醫師ガ發給致シマスル藥ハ、一劑一點トシテ二十錢ノ勘定ヲ取ツテ居ラレ、診察料ハ自ラ別ニ取ツテ居ル、然ラバ藥劑師ノ方ガ原價ノ上ニ調劑手数料ト云フモノデ、合理的徴收ヲ致シテ居リマスノトハ非常ニ茲ニ不公平ナ差異ガアルコトハ明カナコトデアリマス、此點ニ付テハ非常ナ思違ガアラレノデハナイカト思フノデアリマスルカラ、此點ダケヲ一ツモウ一遍確カメテ置キタイ

○丹羽政府委員 本會議デ私ノ申上ゲマシタコトニ關聯シテノ御質問デアリマス、本會議デ私ノ申述べマシタコトガ、質問ノ要點ニビツリ當テ居ラナカッタヤウニハ思ヒマス、併シ私ノ申シマシタ事柄ニ付テハ、詰リ醫師ハ初診料ハ計算致シマスケレドモ、再診以下ノ者ハ報酬ヲ取ツテ居リマセヌ、ソレカラ又再診、初診以後ニ於テ、始終藥劑ヲ貰フト云フ以外ニ病人ノ一切ノ

世話ヲ致シテ居リマスルガ、ソレ等ノ點ハ別段ニ獨立シタル報酬トシテハ計算シテ居リマセヌ、ソレ等ノ點ヲ私ハ申シタノデアリマス、唯御質問ノ點ハ、調劑ノ計算方式ノ問題ヲ主トシテ述べラレテ居ルト思ヒマスルカラ、ビツリ其處ニハ當ッテ居ラナカッタカト思ヒマス、ソコデ計算方式ノ問題ハ別ニ御尋ガアレバ又御答ヲ致シタイト思ヒマスガ、計算方式ハ色々今申述べタヤウナコトモアリ、又色々沿革モアリマシテ、現在ノヤウニナッテ居リマスカラ、御尋ガアレバ別ニ御答ヲ致シマス

○清水委員 私ノ先程ノ質問ニ關聯致シマシテ武知君カラ質問ガアリマシタ、私ハ先ヅ其點ヲ先ニ決メマシテ、ソレカラ先ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、只今社會局長官ハ初診料ハ取ルガ、再診料ハ取ラヌ、故ニ再診料ヲ加味シテ藥價ガ高イト云フ御答辯ト聽キマシタ、併シ患者ガ參リマスルノニ再診ノ場合ハ、診テ貰ッテ藥ヲ貰フヨリハ、唯單純ニ藥ヲ貰ヒニ來ルコトガ多イノデス、詰リ初診ヲシテ貰フカ、或ハ再診ヲシテ貰フカ知レナイガ、唯單ニ藥ヲ貰ヒニ行ク、サウシテ漸ク三日ニ一遍トカ、四日ニ一遍位カニ診テ貰ヒマス、多クノ場合ハ唯使ヲヤルトカ、或ハ自分ガ行クトカシテ行ッテ、唯

藥ヲ貰ヒニ行ク、之ニ對シテ一々再診料ヲ含シタ藥ヲ貰フト云フコトハ、隨分患者ニ對シテ不公平ナ話デアアル、嘗テ日本藥劑師會カラ確カ社會局ニ申出タト思ヒマスガ、今健康保險ニ於キマシテ醫者ニ對シテ支拂ッテ居リマスル金ガ約八百萬圓デアリマス、其八百萬圓ノ中ノ四百萬圓位ガ治療費、四百萬圓位ハ藥價ト私共信ジテ居リマス、約半分位ダト思ヒマス、其半分ノ藥價ヲ假リニ四百萬圓ト致シマシテ、日本藥劑師會ノ要求ハ其六割ヲ以テ支辨ヲスル、詰リ藥劑師會ニ於テハ、四百萬圓ヲ、同ジ藥デ二百四十萬圓ヲ以テ引受ケルト云フ風ナコトヲ社會局ニ申出タノデアリマス、若シ日本藥劑師會ノ要求ニ從ヒマシテ、此六割デヤッタナラバ、茲ニ百六十萬圓浮ク、此百六十萬圓ノモノヲ以テ再診療ニ當テレバ宜クハナイカ、サウスルナラバ普通ノ藥ト同様ニヤレル、殊ニ醫者カラ貰ヒマスル藥ヨリハ、藥劑師ノ方ガ新ラシクテ却テ效能ガアルカモ知レナイ、サウ致シマスルナラバ醫者ニモ利益デアリ、藥劑師ニモ利益デアアル、故ニ斯ウ云フ方針デ以テ進ムナラバ宜クハナイカ、是等ニ付キマシテ社會局デ何カ御考ガアリマスカ、其點ヲ先ヅ御同致シタイ

○丹羽政府委員 醫師ノ藥劑報酬ニ付キマシテハ、オ話ノヤウニ或ハ二度目ニ來タ者ヲ診テヤル時モアリ、或ハ診察ヲヤラナイデ藥ダケヲ貰フ時モアルシ、又藥ヲ貰フト云フ以外ニ、一日ニ何回カ患者ノ狀態ヲ聞イテ、適當ニ處理ヲ教ヘルトカ、色々ソレハ各病氣、各患者ノ狀態、ソレニ依テ色々アルト私ハ思ヒマス、ソコデ結局今日出來テ居ル報酬ノ計算方式ノ問題ニナリマスガ、左様ナ一々ノ場合ヲ決メルト云フコトガ、日本ノ現在ノ開業醫制度ノ下ニ於テ非常ニムヅカシイ、ソレハ合理的ニ中々計算ガ出來難イト云フヤウナコトモ茲ニ考ニ入レナケレバナラヌト思フノデアリマス、現在ノ制度ハ健康保險ノ當初ニ當リマシテ、健康保險經濟ノ將來ト云フヤウナコトモ併セテ考ヘ、又現在ノ開業醫制度ノ現狀ト云フヤウナ各種ノ點モ考ヘマシテ、日本醫師會ト契約ヲシ、一定價格デ請負ハセ、サウシテ其請負ハセル基ハ一人一年幾ラト云フ人頭割制度ニ依ッテ行ハレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此中ニハ色々ナモノガ含マッテ居ルノデアリマスガ、之ヲ御話ノヤウニ分別ヲシテ制度ヲ設ケルト云フコトハ、餘程研究ヲ要スル事柄デハナイカト思ッテ居リマス、ソレデ今直チニドウト云フ風ニ之ヲ改善スルコトハムヅカシクナイカ、斯ウ思ッテ居リマ

スガ、併ナガラ此間福田サンカラ御話ガ  
アツヤウニ、醫療ガマダ安クテイカスト云  
フ説モアリ、高クテイカスト云フ説モアッ  
テ、兩方トモ吾々ニ頻ニ懇ヘテ來ルノデア  
リマス、是ハ吾々ト致シマシテハ高クテハ  
困ル、安過ギテモ甚ダイカスト云フノデ、  
實地ニ付テ是ハ醫療ノ内容等ヲ今日研究シ  
テ居ル次第デアリマス、其上デナケレバ中  
此問題ハ讓ル譯ニハ行カナイノデハナイ  
カト思ヒマス

○清水委員 只今ノ御答辯ノヤウニ、現在  
ノ制度ノ下ニ於テハ或ハ困難デアルカモ知  
レマセヌ、ソレハ私共推察致シマス、併ナ  
ガラ根本ハ變ヘナケレバナラヌカモ知レマ  
セヌガ、何レニシテモサウ云フ點ニ付テハ  
相當ノ御考慮ヲ願ヒマシテ、御研究ヲ願ヒ  
タイノデアリマス

初メノ私ノ質問ニ移リマスガ、先程社會  
局長官ハ大分健康保險モ知レ渡ッテ效果的  
ニナッテ來タ、是ハ私共認メマス、併シ是ガ若  
シ初メカラ丁度逡信省ノ簡易保險局ノ健康  
相談所ニ於ケルヤウニ囑託醫制度ニシテ、  
サウシテ診療ヲ託スル、或ハ藥ハ藥劑師ニ  
ヤラセルト云フヤウニスレバ、モット效果的  
ニナリハシナイカト云フヤウニ、效果的ト  
云フノハ程度ノ問題デアリマス、寧ロ初メ

カラ根本的ニ改正ヲシテ居ッタラ、今少シ  
效果的ニ行ハレテ居リハシナイカ、日本ハ  
外國ニ較ベテ治療日數ガ長イ、外國ハ何處  
デモ短カイガ、是ハ分業制度ガ行ハレテ居  
ル結果デアラウト思フ、ダカラモウ少シ根  
本的ニ元ニ立戻ッテ御研究ヲ願ヒタイ、此處  
デ一寸申上ゲテ置キタイノハ、只今大分被  
保險者ノ方ハ現在ノ制度ヲ喜ンデ居ルト云  
フコトデゴザイマシタ、併シソレハ何カ統  
計的ニ御調べデアリマシタカ、所謂各事業  
主、勞働者ナリニ對シテ一々諮問デモ發  
シテ其結果ニ依ッテ、具體的ノ事實ガアッテ

ノ御答辯デアリマスカ、或ハ單ニ抽象論  
デゴザイマセウカ、又醫師會以外ニ於テ此  
健康保險ノ分業ニ反對シテ居ルト云フ團體  
ガアリマスカ、ソレハドウ云フ風ナ團體  
デアルカ、ソレヲ具體的ニ御示シ願ヒタイ  
ノデアリマス

○丹羽政府委員 健康保險ノ趣旨ガ徹底的  
效果ヲ得タ、ソレハ被保險者タル一般ノ人  
達モ、現在ノ醫師ノ制度ヲ其儘取入レテ居  
ル所ノ健康保險ニ付テ、其制度自體ヲ彼此  
レト批評ヲ致シテ居ル譯デハアリマセヌガ、  
健康保險ノ效果ヲ非常ニ喜ンデ居ルト云フ  
點ニ付キマシテモ、一々統計ニハ取ッテ居  
リマセヌ、統計ハ取りマセヌガ、併ナガラ

色々地方ニ行ッテ吾々ガ實際工場ヲ見タ時  
モサウ云フ聲ヲ聞キマス、又係ノ方ニ感謝  
狀ノ參ッテ居ル點ヲ見マシテモ、大體ニ於テ  
今日喜バレテ居ルト云フ考ヲ持ツコトハ至  
當デアルト思ヒマス

○清水委員 唯抽象的ノ御話デアリマシ  
テ、是ハ私共ト解釋ガ違ヒマス、私ハ群馬  
縣デアリマシテ工場ノ非常ニ多イ所デアリ  
マス、私ノ國ノ方ノ工場ノ職工竝ニ工場主  
カラ聽キマス、非常ニ不滿ガ多イ、殊ニ  
工場主ノ不滿ト云フモノハ、ドウモ職工ガ  
健康保健醫ト狎合ヒ、談合スル、其結果態々  
癒ル病氣ヲ癒ラヌヤウニシテ、一週間位デ  
済ムモノヲ、二週間、三週間、一月ト云フ  
風ニ延バシテ居ルノデ、事業上非常ニ困  
ルト云フノデ、私共ノ國ノ工場主ト云フ  
モノハ、分業ヲ多ク主張シテ居リマス、  
寧ロ現行制度ヲ改正シテ貰ヒタイト云フ  
コトノ希望ガ私共ニ來テ居リマス、尙ホ  
今醫師會以外ニ健康保險ノ強制分業ニ反  
對スル團體ガアルト云フガ、何カサウ云  
フ風ノ具體的事實ヲ今一應御示シ願ヒタ  
イ

○丹羽政府委員 健康保險ニ於ケル醫藥分  
業制度ニ反對ヲシテ居リ、積極的ニ其意見  
ヲ表明シテ居ルノハ醫師會デアリマス、其

他ニ付テハ積極的ニサウ云フ意見ヲ提出シ  
テ居ル者ハナイヤウデアリマス、ソレカラ  
今被保險者ガ長ク怠業ノヤウナ形ニナル、  
斯様ナ點、殊ニ醫師ト狎合ッテ怠業ヲスルト  
云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ當局ト  
シテモ十分取締ッテ居ルノデアリマス、所ガ  
中ニハ工場主ノ方ガ狎合ッテ、長ク職工ヲ遊  
バシテ置ク、詰リ病氣ニナレバ健康保險ノ  
方カラ金ガ貰ヘル、日當ノ何割カ貰ヘル  
ト云フヤウナコトデ、サウ云フ事ヲヤッテ居  
ル、是ハ不況ノ時ニハチヨイ／＼アリマシ  
タ、サウ云フコトヲ監督シテ居テ發見モ致  
シタノデアリマス、サウ云フヤウナ點モ併  
セテ嚴重ニ監督ヲシテ行カナケレバナラヌ  
ト考ヘマス

○清水委員 只今工場主ノ方ニモ怠業ノ事  
ガアルト言ハレマシタガ、是ハ私モ同感デ  
アリマス、矢張確ニサウ云フ傾向モアリマ  
ス、不景氣ノ時ニハ能ク工場主ガヤッテ居  
リマス、是ハ確ニ害ガアル、是ガ矢張工場  
能率上非常ニ損デアル、之ニ付テハ私共今  
ノ制度ヲ直サナケレバナラヌト思ヒマス、  
今健康保險ノ強制分業ニ反對シテ居ルノ  
ハ、醫師會以外ハナイト云フコトデスガ、  
然ルニ健康保險ノ強制分業ニ對シテ贊成ノ  
意見ハ各商工會議所ナリ、勞働團體、或ハ工



場懇話會ナリト云フ、寧ロ資本主竝ニ労働者側ニ非常ニ多イノデス、是ハ相當ニ御認デアラウト思ヒマスガ、其事實ヲ御認デスカ、ドウカラ御同致シマス

○丹羽政府委員 醫藥分業ヲ要求シテ居ル者ガ、労働者團體ニモアルコトモ認メマス、資本家側トシテモ、ハッキリ全體ガサウ云フコトヲ考ヘテ居ルトマデ吾々ハ考ヘマセヌガ、サウ云フ意見ヲ有ッテ居ル人モアルト思ヒマス、併シ全體ノ意見デアルトマデ吾々ハ考ヘテ居リマセヌ

○清水委員 先程私ハ質問ノ中ニ、東京商工會議所ヨリ醫藥分業ニ對スルコトニ付テ社會局ニ答申ガアッタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレハ御認デゴザイマスカ

○川西政府委員 ソレハゴザイマシタ

○清水委員 更ニ健康保險ニ於ケル今日醫藥ノ強制分業ヲ行ハナイ國ガ何處カニアリマスカ、私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於キマシテハ、何處ノ國デモ健康保險其他之ニ關係スルモノハ醫藥分業ノ強制分業ヲヤッテ居ルト思ヒマスガ、英吉利ノ如キハ一般ニ對シテ自由分業デスケレドモ、健康保險ニ對シテハ強制分業ヲヤッテ居リマス、其他外ノ國ニ強制分業ヲヤラヌ國ガアリマスカ、ソレノ御調ガアリマスルナラバ、御知ラセ

ヲ願ヒタイ

○川西政府委員 其點ニ付テ特ニ調べテアリマセヌガ、大抵ハ強制分業ヲヤッテ居リ、英吉利ダケガ自由分業ヲヤッテ居ルト云フコトデゴザイマス

○清水委員 私共ハドウモ此健康保險ニ於ケル自由分業ヲシテ居ルト云フノハ日本ダケデ、是ハ世界ノ變則ダト思ッテ居リマス、是ガ日本ノ爲ニ善イカ惡イカ、今モ政府委員ガ説明サレテ居ッテ、醫師會以外ニハ別ニ現在ノ制度ヲ是認シテ居ラス、寧ロ商工會議所ナリ、或ハ労働團體ナリガ、強制分業ヲ要求シテ居ル、詰リ利害關係以外ノモノハ之ヲ要求シテ居ルノデアリマスカラ、此根本ニ付キマシテハ政府ニ於テ至急ニ能ク具體的調査ヲシテ戴キタイト思ヒマス、調査ヲ願ッテ、出來ルモノナラバ早く健康保險ノ實際ノ效果ノアルヤウニ御骨折ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ私ハ次ノ質問ニ移リマス

現在ノ此秘密治療ノ弊ヲ直サナケレバ、ドウモ誤診、誤藥ノ責任ノ歸著ガナイノデアリマス、此健康保險法規ノ中、施行令ノ第七十六條ニハ「前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者ハ保險者ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選

定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得」

ト云フ規定ガアリマシテ、更ニ施行規則ノ第五十條ニ「保險醫被保險者ヨリ處方箋ヲ求メラレタルトキハ、正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス」ト云フ規定ガゴザイマス、併シ此施行令竝ニ施行規則其他ヲ見マシテモ、若シ醫者ガ拒ンダ場合ニ於ケル罰則ノ規定ガナイノデアリマス、何等罰則ノ規定ハ見當リマセヌ、私ハ茲ニ何故政府ガ罰則ノ規定ヲ設ケナカッタカ、又設ケナカッタ其根本ノ理由ヲ承リタイノデアリマス、其前提トシテ申上ゲタイノデアリマスガ、今日ノ制度ニ於キマシテ、患者ヲ診察スルノハ醫者デアリマス、藥ヲ盛ルノモ醫者デアリマス、若シ私共ガ病氣ニナッテ、誤診ノ結果死ヌ、誤藥ノ結果死ヌト云フ場合ニ於テモ、此死亡證明書ヲ書クノモ亦醫者デアリマスガ、サウスルト私共ハ自分ノ生命ガ實際不安心デ堪ラヌノデアアル、私ハ多年外國ニ居リマシテ、外國ノ實例ヲ知ッテ居リマスガ、向フデハヤハリ醫藥分業ガ行ハレテ居ルノデ、醫者カラ處方箋ヲ貰ッテ、サウシテ藥ハ藥屋カラ貰フ、現ニ私自身ト致シマシテハ、日本ニ歸ッテ來マシテカラモ、主ニ醫者カラ處方箋ヲ貰ヒマシテ、藥ハ藥屋カラ買ッテ居リマス、何故カト申シ

マスト、醫者ハ中々良イ藥ハ高イノデ盛リマセヌ、寧ロ處方箋ノ場合ハ良イ藥ヲ盛ッテ居ルノデアリマス、更ニ責任ノ程度ニ於キマシテ、若シ自分ガ誤診ノ結果死ンダト云フナラバ、是ハ醫者ニ對シテ損害ヲ要求スル權利ガアル、又誤藥ノ結果死ンダノナラバ、是ハ藥劑師ニ損害ヲ要求スル權利ガアル、サウスルト私共之ヲ注意シテ居リマス、醫者モ注意シ、藥劑師モ注意致シマス、此點カラ申シテモ私共分業制度ヲ心カラ主張シテ居ル者デアリマス、サウシテ今日知識階級ノ中ニ於キマシテハ、私共知ッテ居ル範圍内ニ於テハ事實上ニ於テ醫藥分業ヲ行ッテ居リマス、是ハ當然ノコトデアリマス、健康保險法ニ於キマシテハ、醫者ガ十分ニ診察料ヲ受ケルコトガ出來ナイ爲メ、處方箋ノ發行ヲ喜バナイ傾向ガ大分多イノデアリマス、偶々醫者カラ進ンデ處方箋ヲ出ス時ニハ、其藥ガ高イノデアアル、自分ガ藥ヲ出シテハ損ダト云フ場合ニ處方箋ヲ出ス場合ガ多イノデアリマス、患者カラ要求ガアッタ場合ニ、處方箋ヲ發行シナケレバ刑罰ニ處セラレルト云フ規定ガナケレバ中々出シマセヌ、ドウシテモ私共刑罰規定ガ必要ダカラト思ヒマス、先程私ガ申シタヤウニ、工場主トノ關係ニ於テ、談合シテ



困ルト云フコトヲ私モ聞イテ居リマス、是等ヲ矯正スル上ニ於キマシテ、或ハ今社會局長官ガ言ハレマシタ工場主側ニ於テヤルト云フコト、是等ヲ矯正スルニ付キマシテモ、ドウシテモ處方箋ヲ嚴重ニ發行セシメル制度ヲ設ケルコトガ必要ト思フノデアリマス、ダカラ若シ患者カラ要求シタ場合ニ、醫者ガ處方箋ノ發行ヲ拒ンダ時ニ、之ヲ罰スルト云フ風ニ取締ラナケレバ取締ハ出來ナイト思フ、何故此罰則規定ヲ設ケナカッタカ、其設ケナカッタ根本ノ理由、又將來ハ之ヲ設ケル御考デアルカドウカ、此點ヲ御伺致シタイ

○丹羽政府委員 此健康保險制度ニ於テ處方箋ノ要求ヲ被保險者ガ爲シタ場合ニハ、醫師ガ之ヲ交付シナケレバナラスト云フ事柄ニ付キマシテハ、從來モ醫者ハ患者ノ要求ガアレバ處方箋ヲ出ス、是ハ只今御話ノヤウニ「インテリ」階級デ既ニサウヤッテ居ルト云フ御話ガアリマシタガ、大體要求スレバ出ス、唯併ナガラ其要求スルト云フ根據ヲ法ニ書イテ置クノガ最モ適當デアル、被保險者ニモ斯ウ云フ義務ガ醫師ニアルト云フコトヲ知ラシメル上カラ言ッテモ、規定ヲ設ケルガ宜イト云フ趣旨デ、此規定ハ醫師法ニハ此當時無カッタノデアリマスガ、健康

保險法ハ之ヲ挿入シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是レ以上ニ罰則マデモ付ケル必要ハナカラウ、斯ウ云フ考デア出來テ居リマス、又將來ノコトニ付テノ御尋デアリマスガ、將來ノ點ニ付テハ今後ノ實績ガドウシテモ惡イト云フヤウナコトデアレバ、又考慮ヲシナケレバナラスト思ヒマスガ、今日マデ處方箋ヲ要求シテモ出サナカッタト云フヤウナ不平ハ寧ロ少ナイヤウニ存ジマス

○清水委員 處方箋ノ發行ヲ事實拒ンデ居ルト云フコトハ、統計ニ於テ年々藥劑師會ニ支拂フ金額ガ減ツタコトデモ分ルノデアリマス、兎ニ角醫師會ニ對シテハ八百萬圓拂フ、藥劑師會ニドノ位拂フカ、一萬圓カ二萬圓デゴザイマセウ、此統計ハ先程要求致シマシタカラ、其統計ガ參リマシテカラ更ニ質問致シマス、又醫師法竝ニ齒科醫師法ニ於キマシテモ矢張罰則ノ問題ガ大分問題ニナツタト云フコトモ聞イテ居リマス、ソレ等ノコトモ其内ニ參考資料ガ參リマシテカラ改メテ質問スル考デアリマス

ス、診療料ガ安イカラ處方箋料ヲ取ルト云フナラバ診療料ノ値上ヲスレバ宜イノデアリマス、之ヲ二重ニ取ルト云フコトハ間違ッテ居ルノデハナイカ、藥劑師カラ受クル藥劑ハ、醫者カラ受クル藥劑ヨリモ新シクテ値段ガ安イノデアリマス、現ニ日本藥劑師會カラ社會局ニ對スル公式ノ申出モ、醫者ノ藥價ノ六割デスルト云フコトモ聞イテ居リマス、健康保險ノ醫藥分業ヲヤルコトハ困難デアルガ、寧ロ處方箋料ヲ廢シテ、事實ニ於テ自由分業ノ範圍ヲ擴大スルヤウニシテハドウカ、即チ醫者ハ隨分健康保險ト云フノハ工場地帯デ忙シイノデス、忙シイノニ一々患者ヲ診ル、其上ニ調劑スル、其調劑モ本人自ラヤッテ呉レ、便宜シイガ、甚シイノニナリマスルト、自分ノ所ノ女中

カ細君、殆下藥ノ經驗ノ無イ者ガ調合スル例ヲ能ク見ルノデアリマス、是ハ實ニ健康上ニモ心配ニ堪ヘマセス、ダカラ寧ロ處方箋ヲ書クノハ、診療ノ結果處方箋ヲ書クノダカラ樂ダ、サウシテ健康保險醫トシテノ權能ヲ發揮スルコトガ出來ルノデス、故ニ主トシテ處方箋ヲ出サシムルヤウニ御骨折ヲ願ヒタイ、今日處方箋ヲ出スコトハ困難デ、實際患者カラ要求シテモ出サヌノデス、是ハ處方箋料ト云フモノガ附イテ居ル

結果デス、此處方箋料ト云フモノヲ撤廢スルコトガ必要グラウト思ヒマス、何故政府ハ此處方箋料ヲ認メテ居ルノカ、之ヲ撤廢スル意嚮ガ有ルカ無イカ、此點ヲ御伺シタイ

○丹羽政府委員 處方箋料ヲ撤廢スベキカドウカ、處方箋料ヲ撤廢スレバ處方箋ガ澤山出ルト云フ御話デアリマスルガ、吾々ハ一番始メニ申シマシタヤウニ、現在ノ醫師ト患者トノ關係ハ非常ニ複雑デアリマシテ、一概ニ斷定ハ出來ナイト思フノデアリマス、患者ノ様子、病狀、或ハソレガ急激ニ來テ居ルトカ、慢性デアルトカ、或ハ長期ニ亙ルトカ、色々ノ狀態ニ依ッテ違フノデアリマスカラ、處方箋料ノ廢止ト云フコトニ依ッテ處方箋ガ必ズシモ澤山出ルグラウト云フ斷定ハ今著イテ居リマセス、唯併ナガラ御話ノヤウニ處方箋料ヲ出セバ最モ適當デアルト云フ場合ガマダアリハシナイカ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、醫療契約ノ根本ニ亙リマシテ、吾々ハ十分ニ研究ヲ致シ、又現ニ調査ヲ進メテ居ル譯デアリマス

「休憩」ト呼フ者アリ」

○守屋委員長 ソレデハ此程度デ休憩シマシテ、午後ノ一時カラ再開スルコトニ致シマス

午後零時一分休憩

午後二時三十七分開議

○守屋委員長 午前ニ引續イテ開會致シマス——清水君

○清水委員 健康保險ノ質問者ハ大分多イヤウデアリマスカラ、私ハ極ク簡單ニ今二三點ダケ御同致シマシテ、他ノ諸君ニ御譲リ致シタイと思ヒマス、併シ尙ホ政府ニ要求シマシタ参考書類ガ参リマシタ上ニ於テ、質問スル條項ガアリマスカラバ、其時ニ又御許シテ願ヒタイと思ヒマス、尙ホ他ノ質問者ニ關聯スル問題ガ起リマシタナラバ、質問ノ御許シテ願ヒタイ

先ヅ第一ニ御同致シマスノハ、健康保險醫ノ數ト保險藥劑師ノ數、之ヲ御知ラセ願ヒタイ

○川西政府委員 健康保險醫ノ數ハ、昭和八年九月末日現在ヲ申上ゲマスト、三萬一千四百四十七人、ソレカラ保險藥劑師數、是ハ昭和八年十二月末日現在ニ依リマスト、四千五百二十二二人、其中ニ藥劑師ノ方ノ關係デハ、無報告ノ縣ガ六ツバカリアリマスカラ、モウ少シ殖エルカト思ヒマス

○清水委員 健康保險ガ實施サレマシテカラ、非常ニ困難ヲ感ジテ居ルノハ工場附近ノ一般ノ藥劑師デス、是ハ從來ハ賣藥其他

ニ於テ用ヲ辨ジテ居ッタ者ガ、健康保險ニ加入致シマシタ結果、健康保險工場附近ノ藥劑師ト云フ者ハ非常ニ困難ヲ感ジテ居リマス、殊ニ又今回ノ改正案ニ依リマシテ其範圍ガ擴大セラレマスト、是等藥劑師ハ非常

ナ苦ミヲ受ケル譯デアリマス、若シ處方箋ヲ餘計發行シテヤルト云フナラバ、ソレハ宜イノデスガ、今迄ノ例ヲ見マスト云フト、八百萬圓醫者ニ拂フノニ、藥劑師關係ガ一萬カニ二萬ト云フ割合デアリマスカラ、非常ニ困難ヲ感ジテ居リマス、是等ノ藥劑師ニ對シマシテ、何カ救済ノ方法デモ御考ニナツテ居リマスカ、ドウカ、今日藥劑師ハ全ク健康保險ニ於テハ虛名ヲ擁スルニ過ギナイノデアリマス、其結果昭和六年ニハ健康保險ヲ脱退致シマシテ、昨年ノ暮デスカ、漸ク又健康保險ニ加入スル譯ニナツタ、其當時聞キマスト、社會局長官ハ再契約ノ當時ニ於テ言明シテ居ル點ガアルノデアリマス、今其言明ノ點ヲ讀上ゲマスト「昭和六年度以來日本藥劑師會トノ間ニハ、契約締結ノ運ビニ至ラズシテ經過致シマシタ事ハ、理由ノ如何ヲ問ハズ健康保險制度上誠ニ遺憾ニ存ジテ居タ次第デアリマス、所ガ今春以來數箇月間、政府ト日藥理事者トノ間ニ種々折衝ヲ重ネマシタ結果、從來ノ行懸リ

ヲ水ニ流シ、玆ニ日出度契約締結ヲ見ルコトニナリマシタコトハ、誠ニ御同慶ニ存ズル次第デアリマス、契約締結折衝ニ當リマシテ日藥理事者ニ於カレテハ、健康保險制度ニ於ケル診療ハ、醫藥分業制ニ依リテ初

メテ診療ノ完璧ヲ期シ得ルモノナリト云フ強キ確信ヲ持タレ、之ヲ主張宣明セラレマシタコトハ一再デアリマセヌデシタガ、各般ノ事情ヨリ其御主張通り實行ヲ爲シ得ナカッタ譯デアリマスガ、此點ニ關シマシテハ將來特ニ十分ナル調査ト研究ヲ爲シタイモノデアルト思ヒテ居ル次第デアリマス、健康保險法施行後ノ狀況ヲ觀察致シマスルニ、處方箋ノ交付數竝ニ調劑報酬額ガ年ト共ニ急激ニ減少ヲ致シテ居リマスガ、今度再び契約ヲ結ブコト、ナリマシタニ付テハ、政府ニ於キマシテモ此點ニ關シ十分ノ考慮ヲ拂ヒタイと思ヒテ居ル次第デアリマスガ、同時ニ日藥側ニ於カレテモ慎重誠意事ニ膺ラレ、之ガ改善ニ努力セラレムコトヲ望ミマス云々」斯ウ云フコトヲ聲明セラレタト聞イテ居リマスガ、此健康保險ガ實施サレマシテカラ、先程モ再三質問應答ノ中ニアリマシタガ、實際ニ處方箋ノ發行ガ少ナイ、全ク年々少ナクナツテ來タト云フ現狀デアリマス、被保險者ノ醫師ニ要求シタ

處方箋ニ對シマシテ、此減少シタ理由ハ色色アリマセウガ、結局ハ醫者ガ喜バナイ、處方箋ヲ出サスト云フコトガ最大ノ原因ト思フノデアリマス、之ニ付キマシテモ、先

ヅ健康保險ガ實施サレテ後、工場附近ノ藥劑師ガ困ッテ居ル、是等ニ對スル何カ救済ノ方法ヲ御考ニナツテ居リマスカ、又今ノ處方箋ニ對シマシテ社會局長官ガ聲明サレタ、十分努力スルト云フ方針デ、處方箋ノ數ヲ増スヤウニ努力爲サレル御考ガアリマスカ、何カ具體的ナ案デモアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○丹羽政府委員 清水サンノ御尋ニ御答致シマスガ、第一ニ只今日藥當事者ト契約ヲ致シマシタ願末ニ付テ御話ガアリマシタガ、私共ガ健康保險ノ制度ヲ拔ッテ居リマスノニ、醫師モ藥劑師モ十分ノ協力ヲシテ目的ヲ達成シタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソコデ從來、今御話ノヤウニ昭和六年デアリマシタカ、五年デアリマシタカ、藥劑師會ハ醫藥分業ヲ爲スニ非ザレバ契約ハ出來ヌ、斯ウ云フコトデ、其儘ニナツテ居ッタノデアリマス、併シ私共ト致シテハ、藥劑師醫師共ニ此制度ニ協力ヲシテ貰フト云フコトハ保險制度ノ上ニモ宜シ、而シテ又藥劑師ノ側ノ爲ニモ宜シト、斯様ニ

信ジテ今回ノヤウニ契約ヲ締結致シタヤウ  
ナ譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、今  
後ト雖モ十分双方ガ協力シテ、效果ヲ擧ゲ  
ルヤウナ方法ヲ考究シタイト、斯ウ考ヘテ  
居ルノデアリマスガ、諸テ併ナガラソレデ  
ハ醫藥分業ニ行クカ、斯ウ云フ點ニナリマ  
スト、今朝程來御尋ニ對シテ御答致シタヤ  
ウニ、其間ニ色々事情モアリマスノデ、  
是ハ俄ニ右カラ左ト決メテシマウベキ問題  
デハナイ、殊ニソレ等ノ事情ナリ、色々ノ  
制度ナリヲ考ヘマシテ、慎重ニ取扱フベキ  
モノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨  
ヒマシテ處方箋ヲ増加スルト云フコトニ付  
テモ、如何様ナル具體的方法ヲ執ルカト云  
フコトニ付テハ、是モ餘程考ヘナケレバナ  
ラス、併シ處方箋ガ減ッテモ構ハナイデハ  
ナイカ、斯ウ云フ態度デナク、處方箋ヲ利  
用セシムベキ者ニハ、利用サセルト云フ根  
本ノ考ヘ方カラシテ研究ヲ盡シタイト、斯様  
ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ從來  
賣藥ヲ買ッテ居ッテ居タル者ガアル、然ルニ工場附  
近ノ者ガ保險制度ノ爲ニ、醫者ニ掛ルヤウ  
ニナツタカラ藥劑師ハ困ル、斯ウ云フ御話デ  
アリマスガ、ドウモ私共ノ考ヘマス所デハ、  
藥劑師ノコトモ考ヘナケレバナリマセヌ  
ガ、併シ多數ノ勞働者ハ賣藥ヲ買ッテ居ル

ト云フヨリハ、醫者ニ掛ッテ治療ヲ受ケタ  
イ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアルト信ジテ居  
ルノデアリマシテ、其方法トシテ保險制度  
ガ採用セラレ、又擴張セラレルト云フコト  
ハ已ムヲ得ナイデアラウ、ソレデ何カソレ  
ガ爲ニ困ッタコトガ藥劑師側ニ起レバ、特別  
ノ救済方法ヲ執ルカト云フ御話デアリマシ  
タケレドモ、併ナガラ賣藥ノ買手ノ中ノ一  
部分ノ勞働者ガ醫者ニ掛ルヤウニナツタ  
云フコトハ、ドウモ是ハ已ムヲ得ナイコト  
デハナイカ、一體一般大衆デアッテモ、經濟  
上許スナラバ賣藥ヲ買フヨリ醫者ニ掛ルト  
私ハ思ヒマス、デアリマスカラドウモ其點  
ハ已ムヲ得ナイデハナイカ、別段此處ニ救  
済ヲスルト云フヤウナ手段ハ執ッテ居リマ  
セス、併シ全體トシテ藥劑師ガ立ッテ行ケ  
ル方法ヲ執ルト云フコトニ付キマシテハ、  
初メニ申上ゲマシタヤウナ心持デ十分研究  
ヲ盡シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス、去年  
言ッタカラモウドウカシタカト仰シヤイマ  
スガ、サウ早ク出來ルモノデナイト云フコ  
トハ、十分御諒承ヲ得タイト思ッテ居リマス  
○清水委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、  
處方箋ヲ増加セシムルト云フコトニ付キマ  
シテ、何等具體的ノ策ハナイ、唯誠意ヲ以テ  
骨ヲ折ラウト云フ程度ノコトニシカ思ハレ

ナイノデアリマスガ、サウデスカ、更ニ藥  
劑師ガ困ル、困ッタニ付テ別ニ救済策ハナ  
イト云フコトニヤハリ承知シテ宜シイデス  
カ  
○丹羽政府委員 詰リ第一ノ賣藥ヲ買ハナ  
クナツタカラト云フ、斯ウ云フコトニ對シテ  
ハ別段ナ救済ト云フコトハ考ヘラレマセ  
ス、併ナガラ適當ナル處方箋ニ依ッテ藥劑ヲ  
貰フト云フコトガ便利デアリマス、ソレガ  
又患者ノ爲ニ便利デアリ、當業者ノ爲ニ便  
利デアル、サウシテ實際ノ生活ニ適合スル  
ト云フヤウナモノデアリマスレバ、其方ニ  
進ミタイト思ヒマシテ、折角是ハ研究ヲ致  
シテ居ルノデアリマス、具體案ガナイト云  
フ、ソレニ付テノ御尋デアリマスガ、全然  
何モサウ空ニ考ヘテ居ルト云フ譯デハアリ  
マセス、私共ハ先ヅ官公立病院ト云フモノ  
邊リカラ、適當ノ制度ヲ考ヘテ見タイト云  
フコトデ折角研究モシ、實際ニ當ッテ居リマ  
ス、併ナガラ今ドウスルカト云フ所マデノ  
コトヲ申上ゲル程度ニハ至リマセヌ  
○清水委員 政府委員ノ答辯ハ大體諒解致  
シマシタ、次ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シマス  
現在健康保險法ニ於ケル醫師會トノ關係  
ハ請負制度ニナツテ居ルト信ジテ居リマス、  
請負制度ヲ囑託醫制度ニ變更スルダケノ御

考ガアルカ、又之ニ對シテ御研究爲スッテ居  
リマスカドウカ、請負制度ノ不合理デア  
ルト云フコトハ、現在ノ醫療狀態ヲ知ッテ居  
リマスル者ハ必ズ考付イテ居ル所ダト思  
フノデアリマス、第一、其時ト場所ニ依リ  
マシテ醫療費ノ計算基礎デアアル點數ノ單價  
ガ、或ハ十錢以下ニナツテ居ル、或ハ二十錢  
以上ニナツテ居ルト云フヤウナ不合理ニ陥  
テ居ルノデアリマス、若シ七錢、八錢デ足  
リルモノトスルナラバ、二十錢ト云フコト  
ハ非常ナ贅澤デアリマス、之ニ反シテ二十  
錢ガ必要デアルトシタナラバ、七錢八錢ハ  
極メテ粗診粗療トナルノデアリマス、藥劑  
師會ノ主張ニ依リマスルト、一日分六錢程  
度デ引受ケルト云ッテ居ルノデアリマスガ、  
醫師會ノ請負ノ一日七錢乃至二十錢ノ藥價  
ハ相當ニ節約シ得ル餘地ガアルト思フノデ  
アリマス  
第二ニハ治療日數ノ件デアリマス、今日  
平均約三十日或ハソレ以上ニ達シテ居ルト  
思フノデアリマスガ、此治療日數ノ例ハ外  
國ノ例ニ徴シマシテモ、政府ノ初メノ考カ  
ラ見マシテモ、各病院ノ治療日數ノ統計カ  
ラ言ヒマス、三十日ハドウモ長過ぎルヤ  
ウナ感じガアルノデアリマス、是ハヤハリ  
請負制度ノ缺陷デハナイカト思フノデアリ

マス、丁度逋信省ノ簡易保險局ノ健康相談所ガ非常ニ好成绩ヲ舉ゲテ居ル事實ニ鑑ミマシテ、此請負制度ヲ改メテ囑託醫制度ニスルコトガ必要デハナイカ、是等ニ付キマシテ、何カ御研究爲スツタ事ガアリマスルカ、又今ドウ云フ御考ヲ有ッテ居リマスルカ、此點ヲ御伺致シタイ

○丹羽政府委員 醫師會ノ請負制度ニ付テノ御尋デアリマスルガ、請負制度ヲ變ヘテ定額式ニスルト云フコトニ付キマシテ色々御話ガアリマシタ、私ハ制度トシテハ請負制度ニモ長所ガアリ、又短所ガアル、又他ノ如何ナル方法、例ヘバ定額式ニ致シマシテモ、長所アリ短所ガアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、目下請負制度ヲ採用致シテ居リマスル所以ハ、健康保險創始ニ當リマシテ、大體ノ目安ヲ付ケテ保險經濟ヲ確立シテ行クト云フ必要モアリ、又今日日本醫師會ナルモノガ恐ラク非常ニ能ク、世界ノ他ノ國ニサウ見ナイヤウナ發達ヲシテ居リマスノデ、之ヲ利用シテ醫療ヲ盡スト云フコトニナレバ、日本全國津々浦々ニマデモ及ビ行クト云フヤウナ長所モアリマスルノデ、之ヲ採用致シテ參ッタヤウナ次第デアリマス、所ガ御話ノヤウニ、此制度ノ下ニ於テ、殊ニ今日ノ此制度ノ運用

ノ方法ニ於キマシテハ、地方ニ依ッテ事實一點單價ガ色々變ッテ居ルト云フヤウナコトモアリマス、之ヲ其實事ノミヲ捉ヘテ、其實事ダケニ付テ申シマスレバ、一體同ジヤウデナケレバナナイコトガ違ッテ居ルデハナイカト云フ御話ノヤウニナルト思フノデアリマス、唯併シ全體ヲ通ジテ日本ノ健康保險制度ヲ、ドッチニ一體定メタラ宜イカト云フコトニナリマスト、色々ノ點ヲ考慮シナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ私共ガ今日ノ請負制度デ、是ガモウ萬全ノモノデアル、最上ノモノデアルト決シテ思ッテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、之ニ付テハ午前ニモ申シタカト思ヒマスルガ、今日以上ノ内容ヲ各地ニ付テ實際ニ色色調べテ居リマス、左様ナ研究ノ結果ニ俟チマシテ、適當ナ方途ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○清水委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ請負制度ガ最良ノモノトハ思ハス、尙ホ研究ノ餘地ガアルト云フ御話デアリマシタ、出來ルダケ其利害得失ヲ御研究下サイマシテ、良キ方法ヲ御採用セラレルコトヲ御願致シマス

次ニ御伺致シタイノハ、健康保險ニ於ケル醫藥分業ニ關シテ特ニ調査スル爲ニ審議會

ヲ設クル考ガアルカナイカ、健康保險ニ於ケル現在ノ醫藥給付ノ制度ニ付テハ、藥劑師側ニ於テモ不公平アリ、醫師會モ其藥價診察料ノ問題ニ付キマシテ満足シテ居ラヌト云フコトヲ聞イテ居リマス、被保險者デアリマス各勞働黨及勞働組合ノ人ニ會フト、何レモ反對ヲ主張シテ居リマス、商工會議所或ハ其他ノ工業團體ニ於テモ反對ガ多イノデアリマス、從來健康保險ナリ、其他ノ醫藥問題ヲ討論スル場合ニ、何時モ當事者デアリマス醫師トカ、藥劑師ト云フ風ノ者ヲ中心トシテ研究シテ居リマス、是ハドウモ其人ノ利害關係ニ囚レテハ完全ナル法制ハ出來マイ、寧ロ被保險者ノ工場、契約者ノ立場ト云フ全般ノ上カラ見マシテ、各方面ノ意見ヲ聞カナケレバナラス、例ヘテ見レバ斯ウ云フ風ノモノヲ諮問スルノニ、單ニ醫師會ナリ、藥劑師ナリ、サウ云フ風ノモノノミニ諮問シナイデ、或ハ全國ノ商工會議所ナリ、或ハ工業團體勞働組合ト云フ風ノ直接關係ノアルモノ、意見ヲ聞ク方ガ一番宜シカラウ、ソレニ付テハ是等ヲ總テ網羅スル所ノ一ツノ審議會ヲ作りマシテ、其審議會ニ於テ公平ナル意見ヲ求メ、或點ニ於テハ醫師、藥劑師ニ退席シテ貰ッテモ宜シイ、直接關係ノアルモノハ必要上入レテ、中心ヲ被

保險者ニ置イテ審議會ヲ作ッテ、此健康保險ニ於ケル醫藥問題ノ研究ヲ願ヒタイ、政府ハ之ニ付テ何カ御考ガアリマスカ、若シサウ云フ風ノ希望デモアレバ、承レ、バ結構デアリマス、又更ニ審議會ヲ作ルコトガムツカシイト云フノデアラナラバ、先程各方面ノ意見ハ現在ノ健康保險宜イト云フコトヲ聞キマシタガ、意見ヲ徵スルト云ッテモ、具體的ニ之ヲ徵スル方法ガナイデヤナイカ、唯患者ノ一部ガ善イトカ、惡イトカ云フダケデアル、ソレヨリ全國ノ被保險者ノ一種ノ「レフ・レンダム」ヲ行フ、一般投票デモセラレテ、全國ノ一般ノ被保險者ノ意向ヲ聞イテ、サウシテ意見ヲ求メル、健康保險ニ直接利害關係ヲ有スル者ノ意見ニ依ッテ法案ヲ作ルヤウニ願ヒタイト思ッテ居リマス、是等ノ點ニ付テ何カ御考ガアリマスレバ承ッテ置キタイ

○丹羽政府委員 第一ノ醫藥ノ關係ニ付テノ審議會ヲ設クル考ガアリヤト云フ御尋デアリマス、御話ノヤウニ健康保險ニ於ケル醫藥ノ問題ハ種々ノ方面ニ關係ガアリマスノデ、私共ハ勞働保險調查會ナルモノヲ内務省ニ於テ組織シテ居リマシテ、此會ニハ固ヨリ醫師側モ、藥劑師側モ入り、勞働組合側モ入り、資本案側モ入り、其他ノ學者

經驗家ト云フヤウナモノ、集ッテ調査會ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨テ健康保險ニ關シマスコトハソコデ從來審議ヲ致シテ居ッタヤウナ次第デアリマス、今後モ是等ノ問題ニ付テ必要ガアレバ、勞働保險調查會ニ諮問致ス考デアリマス、ソレカラ廣ク被保險者ニ諮問シタラドウカ、「レフ・レンダム」ヲ行ッタラドウカト云フ第二ノ御尋デアリマスルガ、實ハ今迄被保險者ノ「レフ・レンダム」ト云フコトヲ考ヘタコトハアリマセヌデシタ、又サウ云フコトガ本當ニ實情ヲ明ニスルカドウカト云フコトニ付テモ、十分考ヘテ見ナケレバナライノデハナイカト思ヒマス、被保險者ノ多數ハ本當ニドウ考ヘテ居ルカト云フコトノ意思ヲ集メルト云フノニハ、サウ云フ方法ガ適當カドウカ、是ハ餘程考ヘテ見ナイト、實際ノ結果ガ皆ク行クカドウカ、疑ハシイノデヤナイカト思ヒマス、併シ私ハ今初メテサウ云フコトヲ伺ッタノデ、御意見ハ十分一ツ考究致シテ見タイト思ヒマス

○清水委員 只今ノ御答辯ノ中ニアリマシタ、勞働保險調查會、是レノ會員ノ名前ガ其處デ御分リニナリマスレバ御知セ願ヒタイ、今分リマセヌケレバ、後デ書面デ御提出ヲ願ヒマス、尙ホ社會局ノ關係デ御伺シタ

イノガアリマスガ、餘リ長クナリマスカラ、此程度ニシテ置キマシテ、逕信省ノ簡易保險局ノ人ガ來テ居リマスカ、見エテ居ルナラバ、逕信省ノ簡易保險局ノ健康相談所ガ今日何箇所アリマスカ、又現在ノ健康相談所ヲ増加スル考ガアリマスカ、又増加スルナラバ、ドノ位ノ程度ニ増加スル考デアリマスカ、健康相談所ニ於テハ、處方箋ヲ發行シテ、藥劑師カラ藥ヲ買ハシテ居ル、是ハ丁度各國ノ例ト能ク似テ居ルノデアリマス、何レ之ニ付キマシテハ、先程參考書ヲ要求シテ居リマスカラ、其參考書ガ參リマシテカラ、改メテ質問スル積リデ居リマシテ、唯今此場合ニ、現在ノ健康相談所ガ何箇所ト云フ點ト、増加スベキ箇所竝ニドノ程度マデ増加スルカ、其點ヲ御伺致シタイノデス

○守屋委員長 御諮リ致シマス、簡易保險局ノ書記官ノ生田武夫君ガ説明スルヤウニ此處ニ出テ來テ居リマスカラ、御異議ガナケレバ、同君ヨリ説明サレマス  
「異議ナシト呼フ者アリ」  
○守屋委員長 ソレデハ生田武夫君  
○生田簡易保險局書記官 只今御質問ノ健康相談所ノ數デゴザイマス、昨月末ニ於キマスル相談所ノ數ハ、全國ヲ通ジマシテ百

五十一箇所ニナッテ居リマス、本年三月末日迄ニハ百五十四箇所ニナル見込デゴザイマス、又將來ノ増加數ノ問題デアリマスガ、是ハ豫算ノ關係モゴザイマシテ、確實ニ豫想ヲ付ケルト云フコトハ甚ダ困難デアリマスルガ、最近約五箇年間ノ増加狀況ハ、毎年二十箇所ト云フコトニナッテ居リマス、昭和九年度豫算ニ於キマシテモ、矢張二十箇所ヲ要求シテ居リマス

○清水委員 健康相談所ニ於ケル處方箋ノ發行ニ付テ、若シ其處ニ御持合セガアリマスルナラバ、何年度ハドノ位發行シタト云フコトヲ御知セ願ヒタイノデアリマス、又ナケレバ後デ書面デ結構デス

○生田簡易保險局書記官 御要求ニ依リマシテ、昭和三年度以降最近五箇年間ノ處方箋發行數ハ、後ニ書面デ差上ゲルコトニ取計ヒマス、極ク最近ノ年度ニ於キマスル狀況ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、昭和七年度ノ處方箋ノ發行數ハ、全國ヲ通ジマシテ百一萬六千七百六十二件デアリマス、健康相談ノ總件數ハ三百八萬七千八百五十三件デアリマスルカラ、其比率ハ約三割三分ニ當ッテ居リマス  
○清水委員 尙ホ御伺シタイコトガアリマスガ、他ノ諸君ニ御迷惑ト思ヒマスカラ、

私ハ此程度ニシマシテ、何レ他ノ諸君ノ質問ニ關聯シタ場合ニ質問ヲ御許シヲ願ヒマス

○佐藤委員 私モ今ノ健康相談所ニ對シテ御尋シタイト思ヒマス  
元來此健康相談所ガ單純ニ健康ノ相談ノミニ關スル診察ノミニ止ラズシテ、目下ノ各市ニ於ケル相談所ノ遺方ハ治療ヲ加ヘツツアル、ソレガ爲ニ脅威ヲ受ケルノハ醫者デアリマスルガ、私ハ醫者デナイカラ能ク分リマセヌケレドモ、太陽燈、或ハ「レントゲン」ヲ備ヘテ今日ヤッテ居リマス、然ルニ其相談所デ聞イテ見レバ、腹ガ痛イカラト言ハレルト、ソレヲ診テヤルノハ當然ダ、投藥スルノハ當然ダト云フ話デアリマスガ、成程其場デ腹ガ痛イ、頭痛ガスルト言ハレ、バ投藥スルノハ尤モデアル、併ナガラ健康相談所ニ於テ範圍ヲ超越シテ投藥シ、或ハ治療ヲ加ヘテ居ルヤウナ今日ノ狀態デアリマスルカラ、其點ニ對シテハ當局ノ人ハ十二分ニ相當ノ方法ヲ以テ御取締ヲ願ッテ置カナケレバ、一般ノ醫者ノ受ケル害ハ絶エナイト考ヘルノデアリマス、丁度先程ノ質問ニ關聯シテ居リマスカラ、是ダケ希望ヲ述ベテ置キマス

○世耕委員 先程清水君カラ御質問ガアリ

マシタ醫藥分業ノ點ニ就テ一ツ御聽キシタイノデアリマス、ソレハ其事ト關係ノアル中央衛生會ノコトニ付テ御聽キシタイノデアリマスガ、中央衛生會ナルモノガ今日何等ノ弊害ガナイカ、或ハ之ヲ改革スルノ御意思ガアルカ、ドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○丹羽政府委員 今ノ御尋ノ中央衛生會ノコトデアリマスガ、ソレハ衛生局主管デアリマシテ、若シ御尋デアリマシタナラバ、其方ニ申傳ヘテ置キタイト思ヒマスガ……

○世耕委員 ソレデハ其時デ宜シウゴザイマス

○守屋委員長 ソレデハ通告順デ野方君

○野方委員 私ハ健康保險ガ社會保險ノ一ト致シマシテ、極メテ立派ニ發達シテ居ルコトハ非常ニ喜バシイ現象デアルト思ヒマス、殊ニ大體自由選擇トシテ、何人ノ醫者ニモ掛ルコトノ出來ルト云フ制度ハ、歐米ニ見ザル制度デアリマシテ、恐ラク我國ニハ行ハレ得ヌト思フモノガ、而モ完全ニ行ハレツ、アルノデアリマスカラシテ、歐米ノ如何ニ法治國ノ國民ト雖モ驚イテ居ルノデアリマス、併シ之ニ對シテ又弊害ガアリマスカラシテ、此點ニ付テハ一寸御尋シタイト存ジマス

健康保險ハ社會事業ノ先驅ヲナスモノデアリマシテ、政府ノ重要ナル社會事業デア

ルカラシテ、特ニ或一部ノ人ニノ犠牲ヲ拂ハシメルモノデハナイト思フ、又健康保險ノ診療ニ付キマシテハ、私ノ方ハ今迄日本醫師會ニ多大ノ犠牲デハナイカト云フ、少シク醫師會擁護ノ立場ニ居ルノデアリマス又私ノ質問シタイノハ公平ナ見地カラ見

レバ、醫師ノ診療上治療スル藥劑、衛生材料、醫師會並ニ入院患者ノ要スル食品取扱者ニ對シマシテ、少シモ犠牲ヲ拂ッテ居ラヌト云フヤウナコトガ見エルガ、是ハドウ云フ譯デアルカ、又日本醫師會ト社會局トノ契約書ヲ見ルノニ、其必要ナル事務費ヲ診療費中ヨリ引去ルコトヲ認メテ居リマスノハ、是ハ却テ反對ニ診療ヲ低下スル憂ハナイカ、今回ノ改正案モ別ニ診療費ヲ増シテ居ラヌ、増員ハ二十八萬人アルサウデアリマスガ、何處カニ無理ガ出來ル爲ニ診療ノ低下スルノ虞ハナイカ、又日本醫師會ノ健康保險ノ事務費ト診療費トハ別個ニ交付スルコトガ正當デアルト思フガ、政府ハドウ考ヘテ居ルカ、差當リ是ダケノ質問ヲシテ置キマス

○丹羽政府委員 甚ダ失禮デスガ、第一番目ノ御質問ハ一寸聽取レマセヌデシタガ、

ドウ云フ趣旨デアリマスカ

○野方委員 是ハ一部ノ人ニノ餘計犠牲ヲ拂ハシムル憂ハナイカ、斯ウ云フノデス、是ハ、社會局ハ、公平ナ見地カラ有ユル方面ニ犠牲ヲ拂フベキモノデアルガ、特ニ一部ノ人間ノ犠牲ヲ餘計拂ッテ居ルヤウニ見エルガ、公平ヲ缺イテ居ラヌカト云フ御尋デアリマス

○丹羽政府委員 御答致シマス、總テ醫療ノ報酬契約、其他取扱ニ關シマシテハ、私共ハ出來ルダケ公平ニ取扱ッテ居ルノデアリマシテ、唯其報酬ヲ受ケル人々カラ云ツト、實ハ自分ノ方が不足ダト云フヤウナコトモアルカモ知レマセヌガ、社會局ノ取扱方針ハ周ヨリ公平ニ取扱ッテ居ル次第デアリマス、次ニ此今回擴張ニナルノニ、事務費ガ殖エテ診療費ガ低下シヤセヌカト云フ御尋デアリマスガ、今日ノ通りノ假ニ契約ト致シマシテモ、ソレハ人數ガ殖エレバ人頭割デ行ッテ居リマスカラ、其割合デ契約上ノ報酬ガ殖エマシテ、診療費ガ減ズルト云フヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第三ノ點ノ事務費トノ關係デアリマスガ、吾々ハ周ヨリ醫師會ノ望ム所ハ、出來ル限り事務費ヲ少クシテ、診療費ヲ豐ニシテ貰ヒタイト思ヒマス、併シ醫師會自體ガ

非常ニ複雑ナ此仕事ヲ取扱ヒマス上ニ、又相當ノ經費ヲ要スルト云フコトモ已ヲ得ナイコトダト思ッテ居リマス、ソレデ此點ハ適當ニ定メテ行クベキモノダト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○野方委員 政府ノ今回ノ改正ハ權利ノ擴大ト縮小デアリマシテ、先ヅ擴大ノ方ニハ百八十日ノ治療期間ガ三百六十日ニナッテ居ル、是等ハ非常ニ吾々ハ慢性脚氣トカ、結核等ノ慢性疾病ニ對シテハ有利ナル擴張ト考ヘテ居リマス、又縮小方面ニ於キマシテハ分娩費ガ十五圓ニ縮小サレテ居ル、是等ハ非常ニ悅ブベキコトデアルト考ヘテ居リマス、尙ホ質問致シマス、政府ハ健康保險ノ診療ヲ日本醫師會ト官公立病院ニ取扱ハシテ居リマスガ、其内容ヲ異ニシテ居リマスノハ、被保險者ノ心理狀態ニ別ニ惡影響ハナイカ、之ヲ一寸御伺シマス

○丹羽政府委員 醫師會ノ方ノ契約ニ付キマシテハ、御承知ノ通り人頭割請負制度デアリマシテ、是ハ非常ニ複雑ナ此現狀ヲ一定額デ以テ處理シテ行クト云フ上ニ於テ、國家ハ、少クトモ是ハ已ムヲ得ザル方法、又各般ノ、先程御述ニナリマシタヤウナ團體、自由選擇ト申シマスカ、サウ云フヤウナ事情、又健康保險經濟ノ方面、各般ノ事

情ヲ考慮致シマシテ、一番適當ナ制度ト、

ス様ニ考ヘテ行ッテ居ル次第デアリマスル  
ガ、公立病院ノ方ハソレト一ツノ病  
院ヲ相手ニスルノデアリマスカラ、是ハ契  
約ノ形式ノ異ルト云フコトハ、已ムヲ得ナ  
イコトデアルト思ヒマスシ、又ソレガ爲ニ  
一般被保險者ニ惡イ感ジヲ持タセルト云フ  
コトハ別段ナイト考ヘテ居リマス

○野方委員 吾々ハ健康保險ノ擴大ニハ勿  
論異議ハナイノデアリマスケレドモ、之ヲ  
實際ニ行フ場合ニ於キマシテ、ドウモ從來  
ノ診療契約デハ少シ足ラナイダラウト思ヒ  
マス、少クモ四割増額ノ要ガアルト思ヒマ  
スガ、政府ハ如何ニ考ヘテ居リマスカ

○丹羽政府委員 醫療ニ付テノ報酬ガ安過  
ルデハナイカ、四割モ安イト云フ御話デア  
リマスルガ、吾々ハ目下ノ情勢ニ於キマシ  
テハ、此程度デ丁度宜シイノデナイカト大  
體考ヘテ居リマス、併ナガラ先程他ノ委員  
ノ方ニ御答致シマシタヤウニ、醫療ノ問題  
ハ健康保險ノ中心ノ大切ナ問題デアリマス  
ルカラ、私共ハ是デ宜イカラト言ッテ、別ニ  
固定ヲサシテシマウト云フ積リハ決シテア  
リマセヌ、常ニ注意ヲ怠ラズ、必要ガアレ  
バ適當ナ方途ヲ講ジョウ、斯様ニ考ヘテ居  
ル次第デアリマス

○野方委員 今回ノ擴張ノ中デ特ニ必要缺  
クベカラザルモノトシテ、舁人夫従業員等  
ノ者ガ勞働總同盟カラ來テ居リマスガ、之  
ニ對シテハ政府ハ擴張スル意思ハナイノデ  
アリマスカ

○丹羽政府委員 舁人夫、船夫等ヲ強制被  
保險者ニ入レルト云フ考ハナイカト云フ御  
尋デアッタト思ヒマスガ、是等ノ舁人夫ト云  
フモノ、狀態ハ、他ノ一團ヲ成シテ居ル勞  
働者、鐵道ニ從業シテ居ルトカ、工場ニ從  
業シテ居ルトカ云フノトハ、色々ノ點デ實  
ハ異ッテ居ルノデアリマス、吾々ハ、船夫ノ  
如キモノモ、其他土木事業従事員ノ如キモ  
ノモ、漸次保險ノ恩惠ニ浴セシメルヤウナ  
制度ニ致シタイトハ思ヒマスルガ、併シ今  
日ノ所ハ、是等ニ付テハ別段ノ考慮ヲ要ス  
ルモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、  
今回ノ擴張ノ中ニハ之ヲ加ヘテ居リマセ  
ヌ、今後ノ研究ニ俟テ處理致シタイト考  
ヘマス

○野方委員 健康保險ノ制度ハ、本會議ニ  
於テ同僚ヨリ詳シク述べラレマシタガ、我  
國ノ醫者ト患者ノ結合ノ狀態ハ世界無比デ  
アリマシテ、之ヲ多少打破ルヤウナ、溫情  
主義ヲ缺クヤウナ傾向ガアルノデアリマ  
ス、是ハ今日ノ時勢上、ドウシテモ健康保

險ト云フモノハ擴大セナケレバナラヌ、初  
メ政府ガ示サレタ二千五百萬人ト云フヤウ  
ナ數ニ達スルコトハ近キ將來デアルト私ハ  
確信致シマス、故ニ之ニ對シテハ醫者ガ殆  
ド健康保險デ生計ヲ立テルヤウニナッテ來  
ルト、成程現在ノ單價ハ二十錢ニナッテ居  
ルケレドモ、私ノ調査ニ依ルト平均十四錢  
三厘ニシカナラナイ、十四錢三厘デ假ニ百  
人ノ患者ヲ扱フトシテモ、四百四十九圓五  
十九錢ニシカナラナイ、是デ醫者トシテノ  
面目ヲ立テルニハ、例ヘバ家賃七十圓拂フ、  
醫者ヲ一人置クト百三十圓掛ル、尙ホ人件  
費ガ百二十五圓掛ル、其他雜費等ヲ入レマシ  
テ四百五圓掛ル、サウスルト殘リノ四十四  
圓デハ生計費モ教育費モナイト云フヤウナ  
狀態デアル、幸ニ醫療ノ進歩ガ世界無比ト  
ナッテ居ル狀態デアリマスカラ、今日ノ勞働  
者ガ帝大デモ、ドノ醫者デモ自分ノ好キナ  
醫者ニ掛ルコトガ出來ルト云フヤウナ選擇  
ノ自由ガアリマスカラ、之ヲ眞ニ保護サレ  
マシテ、全ク勞働能率ヲ擧ゲル所ノ健康ナ  
ル國民ヲ作ッテ、健康保險ノ名ヲ全ウスルト  
云フコトニ少シク政府ハ注意シテ戴キタ  
イ、今日ノ場合ニ於テ粗惡ナ治療ガ行ハレ  
ルト云フコトヲ憂ヘル者ガアリマスガ、奈  
何セン單價ガ十四錢三厘ト云フコトデハ能

ク出來ナイト思フ、私ハ希望ヲ述べテ置キ  
マシテ、質問ハ致シマセヌ、是デ打切りマ  
ス

○守屋委員長 ソレデハ岡田君

○岡田委員 私ハ保留致シテ置キマス

○守屋委員長 世耕君、御質問ニナリマス  
カ

○世耕委員 各項目ニ互ッテ簡單ニ御尋シ  
タイト思フノデアリマス、健康保險ニ關ス  
ル非難デアリマス、事業主側ノ所謂現行法  
ヲ改正シテ、短時日ノ期間ヲ設ケテ重傷者  
ヲ手厚ク取扱ヒ、敢テ醫療給付ノ必要ノナ  
イ程度ノ輕傷者ニ對シテハ、給付ヲ行ハヌ  
コトニシテ貰ヒタイト云フ意見ガアルノデ  
アリマス、又被保險者側カラ申シマス、  
粗末ナ診療、粗末ナ療法ヲ受ケルノデハ、  
重傷ノ場合ハ恐ロシクテ保險醫ニハ掛レナ  
イ、隨テ健康保險醫ノ世話ニナルノハ、輕  
傷ノ場合ノミデアルト云フヤウニ、事業主  
側ト被保險者トノ意見ガ違フノデアリマス  
ガ、此點ニ付テ政府ノ方デハドウ云フヤウ  
ナ御解釋ヲ爲サッテ居ルカ、先ヅ其點ニ付テ  
御同致シタイト思ヒマス

○丹羽政府委員 只今ノ御話ノ一點ハ、輕  
傷ノ場合ニハ健康保險醫デ見ナクテモ宜イ  
デヤナイカト云フ說ガアル、又一面ニハ勞



働者側カラ言ヘバ、健康保險醫ハ信用出來ナイ、重傷ノ場合ニハ掛レナイト云フ場合ガアルガ、ドウ考ヘテ居ルカト云フ御質問デアリマシタガ、健康保險制度ノ——是ハ申ス迄モナイコト、思ヒマスガ、一ツノ長所ハ輕イ内ニ醫者ニ掛レル、重クナルノヲ待テ初メテ醫者ニ掛テ、初メノ僅カナ病氣ガ大事ニナルノハ、今日ノ被保險者、或ハ國民ノ大多數ヲ占メテ居ル労働者等ノ實際生活トシテモ、恐ルベキ困ッタコトデアリマス、隨ヒマシテ輕イ内ニ醫者ニ掛レテ、サウシテ癒ツタ、是ハ洵ニ結構ナコトデアル、輕クテ済ムノデアルカラ、放ッテ置イタラ宜イデヤナイカト云フコトハ、全ク見當ガ外レテ居ルノデハナイカト思フ、又モウ一ツノ點ノ重傷ニナルト、ドウモ醫者ガ信用出來ヌ、斯ウ云フヤウナ御話モアリマスガ、先程カラ御話ノ出デ居ルヤウニ、非常ニ多數ノ保險醫ヲ囑託致シテ居リマスシ、又官公立病院等ニモ被保險者ハ行ケルヤウニナッテ居ルノデ、重傷者デアッテモ適當ニ良イ醫者ニ掛レル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルト思ヒマスカラ、ドチラノ點モ別ニ今日ノ狀態デ非難ヲ受ケルヤウナ事柄ハナイノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居リマス

○世耕委員 健康保險ノ問題ニ付テ日本醫

師會幹部ガ、健康保險ノ請負會社ノ重役ノ異名ヲ取ッテ居ルト云フヤウナ説ヲ唱ヘテ居ル者ガアリマスガ、日本醫師會ノ幹部ガ横暴デ、自然其幹部ノ言ヒナリ次第ニ吾々醫師ハ働カナクチャナラス、其爲ニ多大ナ犧牲ヲ忍ンデ、醫師ト云フヨリモ一従業員トシテ働イテ居ル、ト云フヤウナ嫌ガアル、斯ウ云フヤウナ弊害ガ、即チ重傷者カラ嫌ハレルト云フ原因ヲ作ルモノデアラウト吾々ハ想像スルノデアリマスガ、斯ウ云フ方面ノ弊害ニ對シテ、何カ政府ハ從來對策ヲ御執リニナッテ居ラレルカ御同致シマス

○丹羽政府委員 日本醫師會ヲ構成シテ居ル醫師ハ非常ニ多數デアッテ、又全國方々ニアル譯デアリマス、サウシテ醫師會ト云フモノガ一ツノ組織ヲ形造ッテ居ル以上ハ、日本醫師會ノ役員モアリ、府縣ノ醫師會ノ役員モアリ、役員ニ非ラザル醫師モ多數アル譯デアリマシテ、其内ノ或ル人達ノ間ニドウ云フコトガ行ハレテ居ルカハ府縣ノ醫師會ナリ、日本醫師會ナリノ問題デアリマシテ、私共ノ此處デ申上ゲル點デハナイト思ヒマスガ、唯健康保險ノ醫療ニ付テハドウカト云フコトニナリマス、醫師會ニ委セテ置クトハ言ヒナガラ、政府ガ請負ハシテ置クトハ言ヒナガラ、政

府ガ監督ヲ十分致シテ居ルノデアリマシテ、其爲ニ重傷者ガ健康保險醫ニ掛ルノヲ厭ガルヤウナ結果ガ出來タト云フヤウナコトハ、私ハ全然承知致シテ居リマセヌシ、左様ナコトノナイヤウニ平素十分監督致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○世耕委員 此健康保險ノ關係ノ中ニ、何故疲弊ノドシ底ニ喘イデ居ルト、世論ノ喧シイ農村竝ニ漁村ニ本制度ヲ實施シナイカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス

○丹羽政府委員 只今世耕君ヨリ農村ニ何故健康保險制度ヲ施行シナイノカ、現下最モ疲弊シ、困憊シ、救済ヲ叫ンデ居ル所ノ農村ニ何故之ヲ實施セヌカ、斯様ナ御尋デアルト思ヒマス、現在ノ健康保險法ハ工業労働者ヲ主トシテ範圍ト致シテ居リマシテ、雇傭關係ニアル者ヲ被保險者ト致シテ居ルノデアリマス、ソレデ此法制ト致シマシテモ、健康保險ノ擴張ヲ致シマスルニ付テモ、同種類ノモノヲ集メテ茲ニ擴張ヲ致シタ譯デアリマス、併シ只今御尋ノ農村ノ醫療ニ付テ、健康保險ノ如キモノヲ實施シタラドウカト云フ其御指摘ニ對シテハ、吾々ハ非常ニ敬意ヲ表スルノデアリマス、サウ云フコトモ考ヘナケレバナラス時節デヤナイカト思ッテ居リマス、併シ今給料生活者、賃銀

生活者以外ノ農村ノ人達ニ健康保險制度ヲ擴ムルニハ、如何様ナ法式ニ依ルベキカ、先程來御話ノヤウナ醫療機關トノ關係、藥劑機關トノ關係、色々ナ點ヲ考慮スル必要ガアリマスシ、是ハ十分ナル研究ヲ積ンダ上デナケレバナラスト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、農村醫療問題ノ一ツトシテ、健康保險ノ如キ制度ニ付テ考究ヲ致スト云フコトノ必要ニ付キマシテハ、全ク同感ノ意ヲ表シタイト思ヒマス

○世耕委員 分曉給付ヲ減額シ、サウシテ寄宿舎收容者ニ對スル手當ヲ減ジ、之ヲ家族療養ノ給付ニ充テ、被保險者ニ其負擔ヲ轉嫁シナイト云フコトハ、是ハ單ニ女子ノ労働者ノミニ關係ガアッテ、男子ノ労働者ニハ適當デナイト云フヤウニ解釋サレルノデアリマスガ、斯ウ云フ問題ニ付テ先ヅ改正ノ手ヲ加ヘルコトガ順序デナイカト思フノデアリマスガ、御意見ハ如何デアリマスカ

○丹羽政府委員 只今ノ御質問ノ趣旨ハ給付ノ關係ノコトヲモウ少シ改正シタラドウカト云フ御尋デアアルヤウニ思ヒマスルガ、給付關係ノ事柄ニ付テハ、色々研究ヲ致シテ居リマスガ、成案ヲ得テ是レナラ宜シイト云フコトニナリマシタラ、何レソレ

改善ヲ施シタイト思ッテ居リマス、今回ハ強制被保險者ノ範圍ヲ擴張スルト云フ點ニ付テ改正ヲ致シタヤウナ次第アリマス

○世耕委員 改正案ノ本旨ニ論及スル前ニ、實ハ現制度ノ趣旨ヲ明ニシテ置キタイト思ウタモノデアリマスカラ、順序トシテ御尋致シタノデアリマスガ、先程來政府側ノ御答辯ニ基イテ考慮致シテ見マスルト、現制度ノ中ニハ長所アリ、短所アリ、相半

バスルモノト吾々ハ考ヘルモノデアリマス、隨テ先程來ノ御答辯ノ中ニ吾々ガ承服出來得ナイ實證ガ茲ニ舉ゲラレルト思フノデアリマスガ、私ハ何レ適當ナ機會ヲ得テ、改メテ御尋スルコト、致シマシテ、一應私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○清水委員 參考書ヲ要求致シタイト思ヒマス、只今ノ世耕君ノ質問ニ關聯致シマシテ、農村ノ醫療問題デゴザイマスガ、農林省モ産業組合ノ關係デ、農村ノ醫療組合ニ關係ガアリマス、此農村ノ醫療組合ノ組織、組合數、其他之ニ關聯セルコトニ付キマシテ、農林省ノ政府委員カラ其參考書類ヲ提出スルヤウニ御取計ヲ願ヒマス

○守屋委員長 承知致シマシタ、——佐保君

○佐保委員 私ハ本案ニ對シテ別段反對デ

ハアリマセヌガ、唯茲ニ當局ニ御尋シテ置キタイト思フノハ、保健法ノ第十三條ノ(イ)ノ中ニ「物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業」トアリマスガ、物ノ製造、加工、修理ノ事業トハドウ云フ事業デアルカ、之ヲ御示シテ願ヒタイ

○川西政府委員 只今ノ御尋ハ物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業ニ付テ各々ノ概念ヲ説明シロト云フコト、思ヒマスガ……

○佐保委員 事業ノ種類デス

○川西政府委員 是ハ改ッタ文句ヲ使ッテアリマスガ、一口ニ申上ゲマス、今日ノ工場ト申ス種類ノモノデゴザイマス、ソレデ場ヲ製造シ、加工シ、選別シ、包裝シ、修理スル、斯ウ云フ普通工場ニ於テ行ハレテ居ル各般ノ業務工程ノ内容ヲ、法律的ニ現ハシマスレバ斯ウ云フ文句ニナリマス、大體工場ト御承知願ヘバ宜シウゴザイマス

○佐保委員 實ハ私ハ之ヲ御尋シテ、然ル後ニ質問致シタイト思ッタノデアリマスガ、只今ノ御答デハ一寸要領ヲ得マセヌガ、兎ニ角府縣ノ事業ノヤウナ電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生、電導ノ事業デアルナラバ兎ニ角、今日地方ノ實情ヲ見マス、豆腐屋、裁縫屋、洋服屋ニシテモ五人以上ヲ使用シテ居

レバ、此法ノ適用ヲ受ケテ健康保險ニ加入シロト、縣ヨリ警察ヲ通ジテ當業者ニ言ッテ來テ居ルヤウデアリマス、然ルニ危險ナル事業ナラバ兎ニ角、地方ノ豆腐屋、蒔莖屋ニ至ル總テノモノニ對シテ之ヲ適用シテ、五人以上使用スルモノニハ直ニ之ヲ適用スレバ宜イト云フ議論ハ誤ッテ居ナイカト思フ、其實情ヲ知ラザルモ甚シイ、豆腐屋ノ如キハ、人ガ寢テ居ル内ニ造ッテ、人ノ起キル頃ニ賣ニ出掛ケル、斯ウ云フモノニハドウシテモ時間ノ制限ハ出來ナイ、洋服屋デモ裁縫屋デモ同ジデ急ナ、夜通シデ著物ヲ造ルヤウナ場合ニ、時間ノ制限ヲサレ、工場法ノ適用ヲ受ケテ、警察カラ喧シク言ハレタラドウシテモ生活上此事業ハ出來ナイ、洋服屋ノ如キハドウカト云フト、——

私ハ佐世保ノ海軍地ニ居リマスガ、命令ヲ以テ海軍カラ裁縫セヨト云フテ要求ヲシテ來ル、ソコデ徹夜ヲシテ裁縫ヲスル、斯様ナ場合ニ於テ、警察カラ時間外ノ仕事ヲシテハイカスト云フヤウナコトヲ言ッテ、此工場法デ喧シク言ハレ、バ、營業ハ立行カヌ、ソレデ斯様ナ場合ニ洋服屋ヤ、豆腐屋ガ此法ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ、實情ニ適シマセヌ、此健康保險法ハ全ク結構デアリマスガ、斯様ナ小サイモノニ迄——家庭的

ノ事業ニ迄之ヲ適用スルト云フコトハ不當デナイカト云フ考ヲ懷イテ居リマシテ、其點ニ付テ實ハ反對デスガ、他ニハ何等反對スル所ハアリマセヌ、而モ洋服業、或ハ裁縫業ノ如キハ、稅務署ト社會局トハ全ク違フ、稅務署ハドウデアアルカト云フト、洋服業者、或ハ裁縫業者ノ工場ニ對シテハ、製造工業トシテ認メテ吳レロト言ヘバ、販賣業デアル——布ヲ取寄セテ之ニ加工スルカラ製造工業デ、單純ナ販賣デナイ、所ガ稅務署ハ販賣業者トシテ課稅スル、即チ此加工工場ト認メナイモノニ對シテ一方ニ於テ此工場法ヲ適用シテ、警察ノ力ヲ以テ健康保險ニ加入セヨト強要スル、是ハ吾々ハ非常ニ不可解デアル、五人カ八人ノ使用人ヲ使ッテ、「ミシン」ノ一臺ヲ持ッテ居ルカラト云ッテ、此工場法ノ適用ヲ受ケテハト云フノデ、「ミシン」ヲ隣ノ家ニ移シテ、内密デ裁縫ヲスレバ宜イト云フヤウナ考ヲ懷ク人モ中ニハアルカモ知レヌ、斯様ナコトニ對シテ當局ハドウ考ヘマスカ

○丹羽政府委員 只今ノ佐保君ノ御質問ハ、健康保險法改正法律案ニ關聯シテ、工場法ニ關スル御尋デアッタヤウニ拜承致シマス、工場法ノ方デアリマス、時間ノコトモ規定ガアリマスシ、其他設備ノコトモ

規定ガアリマス、併ナガラ工場法ノ適用ノ範圍ハ工場法ガ決メテ居リマスノデ、其範圍ハ既ニ明ニナツテ居リマス、健康保險法ノ方ニナリマス、工場法ヲ適用シマセヌデ

——工場法ヲ適用シマス、御話ノ如ク時間ノ制限ガ起ツタリ、時間ノ制限ガ起ルト申シマシテモ、是ハ實際ニ合フヤウニ色々致シテアルノデアリマスガ、兎モ角モ設備ノコトモ規定ガアルシ、時間ノコトモ規定ガアル、ソコデ私共ハ本改正案ニ於キマシテハ、工場法ハ小サナモノニハ適用シナイデ宜シ、併ナガラ労働者ガ病氣ニナツタ時ニハ困ルデハナイカ、困ルカラソコデ不斷カラ僅カナ掛金ヲシテ置イテ、保險ノ厄介ニナツテ、サウシテ卒ザ病氣ニナツタ時ニハ、其處デ醫療ヲ受ケルナリ、療養ノ手當金ト云フ、一種ノ生活費ヲソコカラ給付シヨウト云フヤウナコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、健康保險法ヲ小サイ所ニマデ擴張致シマスノハ、工場法ヲ施行セズ——工場法ヲ適用スルト他ノ色々ノ規定ガアリマスカラ、ソレヲ適用シナイデ、サウシテ之ヲ擴張シテ參ラウ、斯ウ考ヘテ立案サレテ居ル次第デアリマス

○佐保委員 當局ノ御説明ハ能ク分リマシタガ、僅カ五名、八名、九名ノ家庭工業ト

言ハレルモノニ保險法ヲ適用ニナツテ、被傭者ニ對シテ利益ガ行クヤウニ御考ニナルカモ知レマセヌガ、吾々カラ考ヘルト、被傭者ニ對シテハ收入ノ減ヲ來スカ、或ハ負擔ノ過重ヲ來シハシナイカ、大キナ工場デアルナラバ、所謂資本主ト被傭者トノ間ニ——多數ノ人々ノ間ニ解決ガ出來ルガ、僅ニ五名、十名ノ少數ノ間ニ於テハ、雇主ガ雇傭スル場合ニ於テ、初メカラ斯様な負擔ガアルカラ、賃銀ヲ安クスルガソレデ宜イカト云フヤウナ契約ヲ成立タストモ限ラヌ、又從來ノ傭人ニ對シテハ、斯ウ云フ法律ヲ適用サレルカラ、オ前ノ賃銀カラ差引クガ、ソレデモ差支ナイカト云フヤウナコトニナツテ、結局ハ被傭者ノ負擔ガ非常ニ過重ニナル結果、或ハ收入減ニナルト云フヤウナ虞ガアル、私ハ之ヲ五人以上ト云フコトニサレタコトハ宜シクナイヤウニ思フ、此間本會議ニ於テ述ベラレタ通り、家庭工業ニ於テハ、一家ノ家族同様ニシテ、病氣或ハ其他ノ不幸ニ對シテモ、家族同様ニ世話ヲ致シテ居ル、ソレヲ法律ヲ以テ此情誼ヲ無視シテ、將來進ムト云フコトハ洵ニ面白クナイ、日本固有ノ美風ヲ破壊シハシナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、當局ノ御考ヲ承リタイ

○丹羽政府委員 是等ノ小工場ニ於キマシテハ、雇主ト労働者トノ間ニ極メテ密接ナ關係ガアリマシテ、人情麗シキモノガアルト云フコトハ、大工場ヨリハ厚イノデハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ卒ザ病氣ニナリマス、矢張ソレヲ癒シテヤルダケノ金ヲ使ヒマセヌト癒サレナイ、又病氣ニ罹ッテ居ル間ノ生活費モ出シテヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマス、是ハ中ムヅカシイコトデアリマス、所ガ健康保險法ニ依リマスレバ、平素僅カナ掛金ヲ致シテ置キマシテ——貯金ヲ致シテ置クヤウナモノデアリマスガ、僅カナ貯金ヲシテ置イテ、ソレモ單獨ニ貯金ヲシタダケデハ病氣ニナツタ時ニ足リマセヌガ、併シ保險デアレバ卒ザ病氣ニナツタト云フ時ニ世話ヲシテ貰ヘル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、御話ノヤウニ家族同様ニシテ居ル者ガ病氣ニナツタ、其時ニ醫者ニモ掛ケルト云フヤウナコトデアレバ、一層ソレヲ看護スルナリ、見舞ヲスルナリシテ、尙ホ人情ノ厚キ所ガ現レテ行クノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、又御話ノヤウニ、左様ニ人情ノ厚イ所デアリマスレバ、僅カナ掛金ヲ労働者ノ方ニ轉嫁スルト云フヤウナコトモナカラウ、其位ハ主人ガ負擔ヲ致シテ、

サウシテ保險ノ利益ヲ労働者ニモ及ボス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○佐保委員 只今ノ答辯ト私ノ質問ハ、結局意見ノ相違ト云フコトニナリマス、私ハ此程度ニ於テ質問ヲ終リマス

○守屋委員長 ソレデハ今日ハ此程度デ散會致シマス

午後三時五十分散會